

ブータン地方行政プロジェクト運営指導調査 協議議事録

日時 8月30日(月) 11:00~12:45

訪問先 UNDP ブータン事務所

面談者

Mr.Toshihiro Tanaka、Deputy Resident Representative

Ms.Marié Pedersen、UNCDF Programme Officer

Ms.Karma Hamu、UNDP Head of Governance Unit

協議内容

1. UNDP が行っているプロジェクトの概要説明

ア) 対象県：ガサ、ペマガツェル(2003年度から)、シエムガン、ルンチ、トンサの以上5県の地区すべてを対象。

イ) 予算規模：1ゲオックにつき50万USドル程度

ウ) 報告：半年に一回のゲオックからの報告書並びに年度計画書

エ) 住民負担：5~10%が原則だが、実際は地域状況を考慮して幅を持たせている。

オ) プロジェクトの内容：橋や道路の整備などインフラ案件が中心。規模はEIAの基準にかからない規模であるとの説明あり。

カ) プランニングプロセス：基本は第九次5カ年計画に沿って地区が年次計画を立案する。しかし、5カ年計画の案以外に関してはUNDPのガイドラインを作って管理する予定である。しかしここは内務文化省の自助努力を期待しているとの事。

キ) 年度予算の配分：ゲオックの状況に合わせて数十%毎に支給している。一例を挙げると、9月30%、翌2月40%、6月30%。7月~8月の国会によるプロジェクトの承認を経て、ゲオックに対する年度予算を決定する。年度の始月にある程度の予算をゲオックに渡さないとプロジェクトがスムーズに行われないと認識を持っている。

2. 予算の流れ

ア) 年度予算の繰越：年度末前の4月にプロジェクト予算の執行状況が70%を超えているプロジェクトに関しては次年度にそのプロジェクトに対する予算を繰り越せる仕組みを持っている。それ以外の場合はUNDPに執行されない予算が返還される。

イ) 資金の流れ：年次国会による各プロジェクトの承認を経て、ゲオックに対する年度予算を決定しUNDPから国庫に資金が入金される。その後は通常のプロジェクト同様に「DBA」→「県」→「ゲオック」となる。

ウ) 資金の入金管理：県のDFOがDEOの技術的なチェックを参考に監査し、県知事の承認を経てゲオックにNUにて入金する。

日時 8月30日(月) 14:00~16:00

訪問先 内務省政策企画局

面談者

Dasho Penden Wangchuk 次官

Dasho Karchung 次官補

Ms. Karma Doma Tshering プロジェクトマネージャー

協議内容

1. 全体の進捗状況について

まだ、パイロット事業の実施が行われていない上、雨期による災害が多いため、必ずしも運営指導調査に適したタイミングではないが、これまでの短時間で、PMOの立ち上げ、津川氏の赴任、RIMのワークショップの実施など、プロジェクトの成果は出てきている。地区センター建設に関しては、GYT/DYTチャスリムに沿って入札を行ってきている。ハ県では入札が終わり、ブムタン県では9月中旬に入札を行う予定である。まだタシガン県では行われていない。JICAの資金がWell and Fully活用されることを保障する。今次調査では、GYTメンバーやDYTメンバーとよく協議を行い、その結果を、当内務省にフィードバックするようお願いしたい。

2. 各活動に対する進捗状況について

別添6に沿い説明。

ア) RIMの研修について

RIMにより活動の2.2のAからDまでの一連の研修を一括にしたプロポーザルが作成されている。また、RIMの主導のもと、県の財務官や企画官、内務省や財務省の関係者を対象にパイロットプロジェクトの実施ガイドラインの策定を目的とするワークショップが今年7月に実施された。これを基にハ県、ブムタン県では既にプロジェクトの計画・選定のためのワークショップを実施した。地区長により作成されたプロポーザルはGYT承認のち、県セクタースタッフにより技術的認可や見積もりがなされている。しかし、公選の地区長を対象とする研修の場合、その持続発展性に留意する。

イ) その他研修ニーズについて

- 財務研修：財務研修の対象は地区会計士(42名)と県財務担当官(20名)であるが、地区長の参加(201名)も財務省より要請されている。3つの地域において、一斉に研修を実施する。
- 県庁職員や農業普及員の研修：地区における予算作成、計画段階における技術支援に関するToT研修に対するニーズが出ている。
- 地区長の研修：仲裁者としての役割に関する研修ニーズが出てきている。

- データ管理研修：地区間の調整など計画を円滑に進めるため、また、公選の地区長や村長の任期が終了しても、継続的にデータが管理できるよう、同研修は必要がある。
- 本邦研修：研修内容が高度なため、第三国研修を検討。県財務官や企画官など本プロジェクトの実務者レベルの実務研修について現在ヒアリングを行っている。

ウ) その他

- チヤスリムのマニュアルづくり：マニュアル案作成は終了している。内部最終確認ののち、印刷を行う。コピーを渡すことができる。
- 地方行政局の設置：政府により承認されており、その局長は9月下旬までに配置されるであろう。機材はすでに本プロジェクトにより購入している。また、PMOはGYT/DYTを管轄する地方行政局の一部となるであろう。プロジェクト・ディレクター、プロジェクト・マネージャーは地方行政局の職員となる。
- 会計報告：現在、GeogLC口座は県財務官および地区長により管理されている。全ての出納は県財務官および地区長のサインなしでは行われぬ。半年毎の活動報告書をPMOに提出するほか、各地区が作成した月間会計報告書を県財務担当官がとりまとめて提出することは可能。繰越会計は可能である。全てのパイロット事業について、2005年2月までの開始、2005年12月までの終了を義務付けている。事業により契約方法は変わるが、どの契約についても、県がサインし、王立会計監査院の対象となっている。
- 短期専門家の派遣：土木エンジニアの要望が出ている。今回のフィールド調査において、GYT/DYTメンバーと協議し、ニーズを確認して欲しい。また、ベースラインによる研修ニーズ結果も参考にして欲しい。
- 現地コンサルタントの雇上：もともとガイドラインの開発のためであったが、UNDPによって賄われた。しかし、地王行政局の設置に伴い、協同組合法など法律の翻訳作業が出てくると思われるため、予算はそのまま残して欲しい。
- (次官)住民負担：例えば、支線道路を農道とする農業省の新しい方針は、既に超過負担の状況にある住民の負担を減らし、政府による業者契約事業にするためでもある。住民の超過負担は農村地域から都市部への住民の流出を促す1原因となっている。各地区にいる住民が流出しないよう事業を進めて欲しい。

日時 8月31日(火) 9:30~12:00

訪問先 内務省

面談者

Mr.Yonten Gyeltshen、リトマス コンサルタント

協議内容

1. 進捗状況の説明

ハ県については調査を終了。現在、分析作業中である。ブムタン県については調査を終了。現在、調査結果を集計中である。タシガン県については未調査（調査期間未定）である。調査員については、高卒以上のフリーの調査員を短期雇用した。

2. 報告

一般概論とハ県の単純集計結果のプレゼンテーションあり

3. 分析の内容

グッドガバナンスにはどのインディケータが有効かの分析作業はリトマスが行う。この分析作業は現在の TOR の範囲である。各県での調査結果のプレゼンテーションは現在の TOR には入っていない。

日時 8月31日(火) 12:00~13:30

訪問先 内務省

面談者(発表者)

Mr.Phuntsho Namgay, Head, Center for Local Governance,RIM

Mr.Tashi Wangzin, RIM

Mr.Thinley Namgyal, RIM

協議内容

1. 進捗状況の説明

ハ県およびブムタム県についてはパイロットプロジェクトに関するワークショップを終了した。タシガン県については、研修未終了（研修期間未定）である。

2. 報告

RIM での研修内容の説明、およびハ県、ブムタン県でのワークショップのフィードバックのプレゼンテーションあり

3. 研修の内容

使用言語はゾンカ語である。現地でのワークショップはその地域に応じて使用言語を変えた。研修内容は JICA との契約通りである。

ア) ハ県のフィードバック

地区長の識字率(ゾンカ)が50%程度である。しかもトレーニングの理解しているものと考えられる地区長は全体の75%にとどまっている。第9次五か年計画策定時の地区長が現在交代しておるケースが多いため、今回のプロポーザルの多くは当初の計画と違うもの

である。村長は給料が支払われないため、成り手がいない。建物の建設に必要な資材（特に木材）は伐採許可を得るのに一年以上を費やす。地区にも豊かな場所と貧しい場所があるため、各地区一律の予算金額では不公平感がある。

イ) ブムタン県のフィードバック

村長が主催する Tshogpas Meeting はアジェンダやガイドラインもなく、しかも 60%しか議事録が取られていない。Ura では歩道建設のプロジェクトを計画している。この特徴は材料のみ JICA の予算を使い、その工事に係る労働力はコミュニティが提供する予定である。JICA の予算を他ドナーと合わせてひとつのプロジェクトとして使用できないか。橋の工事に関して、住民の労働力提供は難しい。その理由として橋の工事は素人ではできないことが上げられる。村長の任期（一年）は短すぎる。など

日時 8月31日（火） 14:00～15:30

訪問先 財務省予算会計局（DBA）

面談者

Mr. LhamNidup 予算会計局主任

協議内容

1) 財務研修について

RIM による財務研修も可能であったが、予算会計局による実施のほうが後々フォローアップしやすいと思う。去年、同様の財務研修を実施した経験がある。地区長を対象に入れたのは、地区会計士はブックキーパーであり、全体の財務管理のコンセプトを地区長が理解することが重要であるからである。また、対象を全国にしたことにより、第2フェーズにおいて他県を対象にした際、実施がスムーズになるほか、第9次5ヵ年計画の3年目になる今年の財務研修が非常に重要となるからである。同研修を既に財務研修指導員が赴任している Samtse 県（?）、Chhukha 県（?）、Ha 県（?）において実施する場合、人件費については予算会計局が負担することができる。実施時期としては、10月に中期歳出フレームワークの策定を世銀とともに行うので、11月頃が望ましい。

2) 資金フローについて

プロジェクト名義の銀行口座（PLC）を開設することは可能である。これは、JICA のみの特別な措置である。プロポーザル承認ののち、PMO は地区長と県財務官の名前で小切手を発行する。国庫とは別会計（OffBudget）となるが、JICA 専用の特別財務コードを付与し、JICA のパイロットプロジェクトは政府開発計画に組み込まれ、王立会計検査院による監査の対象となる。地区レベルでは、Geog 当座預金口座、政府 LC/LC 口座（UNDP はここに入金）、JICA プロジェクト口座の3となる。会計報告は、現行のチャスリムに沿う。他ドナーとの合意があれば、ドナー間によるコストシェアリングの事業は可能である。こ

の場合においても JICA 資金は JICA 専用の財務コードを保持できる。Geog センター建設事業は、完工したのち、Geog に引き渡される。これは、Geog の歳出のうち、JICA による InKind の贈与として記録されることとなる。繰越会計は行われている。

3) その他

今後の財政移譲において、地区会計士の処遇が課題となる。現行のまま、公務員として扱うか、サラリーの上限を設定して、地区の管轄下に置くか、地区会計士の処遇が課題となる。

住民負担について、政府としては、無償の労働奉仕を廃止する方向にある。これに変わり、税金として、公共施設の使用料金を課することが検討されている。現在、農村税には、世帯税、家畜税、土地所有税があるが、税金は極めて小さい。

政府予算の配分は、Geog センターから道路までにかかる徒歩日数を用いた計算式を使って公平性を確保している。今後は、人口規模を基とした計算式の使用を検討しているが、公平性の問題点が指摘されている。

日時 9月1日(水) 13:30~14:30

訪問先 ハ県 Sama (サメ) 地区

面談者

Mr. Dorgi Chuncheg 地区長

?書記

協議内容

1. RIM による研修について

会計や計画についても学べて非常に役立つ内容であった。同研修において多くの家庭における課題である簡易水道施設の設置が優先度の高い事業として選ばれた。水道施設(蛇口のみ)を平均2家屋間に一箇所設ける。また、計画官より計画過程、財務官より予算管理に関する知識を学んだ。冬の到来前に、最終計画案を県に提出し、県の許可を得たのちすぐに入札に移りたい。目下のターゲットは、工事を JICA の条件である期間内に終了させることである。JICA より土木設計の専門家が派遣されると聞いている。水源にかかる調査やフィージビリティ調査も終わっている。

2. 地区による負担について

不熟練労働力は100%地区住民が提供する。もし、予算が足りないようであれば、事業費の30%まで地区が資金を提供する準備はある。技術面での支援は、県の技術官が提供する。地方分権化の重要性を認識している。過去においては、政府の開発事業に対し、無償の労働提供を50%、有償を50%としていたが、JICA に対しては100%労働力を提供する(ハ

県は農繁期が少ない)。

当初、Geog センターの予定地が沼地であることが判明し、県職員、村長、住民との協議の結果、他に予定地を2箇所設定した。

日時 9月1日(水) 15:00~16:00

訪問先 ハ県

面談者

Rinchen Dorji 副知事

Mr. M.B.Mongar 土木エンジニア課課長

Mr. G.B.Chettri 企画官

協議内容

地区センターの建設予定地について憂慮する。RIM がパイロット事業にかかるワークショップを7月18日から8月9日まで実施した。RIM は開発事業の優先付けを助けたが、それでもたくさんの事業が申請されている。地区長は、分権化の意義を理解していると思うが、能力不足のため業務遂行に多くの課題を抱えている。住民も地区長選挙において能力により地区長を選ぶ必要がある。RIM は地区の業務運営において住民と行政関係者の関係を教育した。地区間での調整はRIM によるワークショップで行われている。県職員は技術面で必要なサポートを提供している。DYT はGYT マターに関与しないが、地区間での事業の優先付けを行う。今後の課題は、優先事業について、地区長が間違った方向に導かないよう県がガイドすることである。

日時 9月2日(木) 9:00~10:00

訪問先 ハ県 県庁

面談者

Tashi Norbu 県知事

Rinchen Dorji 副知事

M.B.Mongar 土木エンジニア課課長

G.B.Chettri 企画官

協議内容

今週、王立会計監査が当県を訪問し Geog における政府開発事業を対象に監査を行う予定である。県下5地区に対し、県庁は技術的認可と見積もりにかかる支援を行う。プロジェクトのガイドラインに関して、識字率が低いため、これら Geog がどの程度理解しているかわからない。最初の1~2ヶ月は、県財務官、土木エンジニア官のフォローアップが必要であろう。また、地区長、副地区長、書記に対し、更なるトレーニングが必要となる。パイ

ロット事業のプロポーザルは受理された。各省の許可を取り付けたのち、入札に入る予定である。本邦研修、第三国研修を、企画官、土木官など実務者を対象に行うことは良いことである。

日時 9月2日(木) 10:30~11:30

訪問先 ハ県 Bji (ジ) 地区

面談者

Mr. Sonam Dorji 地区長

?書記、

?村長(7名)

協議内容

1. 地区センター建設、吊橋建設について

GYT メンバーにより、公平性を喫するため、地区センターの建設地を Geog 領域の中心に定めた。7月に入札書類は全て作成され、2週間以内に入札に入る予定である。Chung Zam 吊橋と Tokay Chhuta Zam 吊橋が要請されている。過去に、橋とともに子供たちが流されたことがあり、この橋の建設は重要である。当初、ベイリー式を検討したが、価格の低い吊橋にし、2つ建設できるようにした。前者を優先的に建設し、残金を後者の建設に補填する。また、後者に関しては、工事価格を50万ムルタム以下に抑え、当該地域の請負業者に発注したい。地域外の業者は質に関し妥協する傾向があり、また、当該地域住民に利潤をもたらしたいためである。住民によって建設する際は、県の技術支援が不可欠である。住民労働に対しては賃金の支払い、業者契約の場合は、賃金労働を当該住民から雇用してほしい。

2. RIM による研修について

財務の流れ、意思決定のプロセスなどの内容を含み、満足している。事業における村長の役割はこれまでになく大きく、実践とともに、あと数回研修が必要である。GYT ミーティングののち、村の寄り合いを開いたが、私の村では13名の村人が集まり、3時間かけてニーズの高い事業を選定した。ニーズを示した村マップを作成し、そののち GYT ミーティングに提出した。

日時 9月2日(木) 12:30~13:30

訪問先 ハ県 Katsho (カチョ) 地区

面談者

Mr. Sonam Tshering 書記

?副地区長

協議内容

支線道路の建設により 85 世帯が裨益する。もともと第 9 次 5 年計画案に含まれていたが、中央の最終調整で外れた経緯がある。実施開始時期について、道路建設に関しては森林局や道路局の許可が必要となるため、他事業より遅くなる。県による技術支援は必須であり、事業は業者に発注したほうが質の高いものが期待できる。

RIM の研修については、研修期間が短すぎると思う。

日時 9 月 2 日 (木) 15 : 00 ~ 16 : 30

訪問先 ハ県 Uesu (ウエス) 地区

面談者

Mr. Lhaba (ウエス地区およびカチョ地区選出の国会議員)

Mr. Gem Dorgi 地区書記官

協議内容

RIM によるワークショップは有意義であった。事業の計画・選定プロセスにおいて、ニーズ、目的、場所、実施時期、実施体制、予算などが明らかになった。GYT ミーティングで協議された内容は、村に持ち帰り村の寄り合いにおいて優先プロジェクトが抽出され、村マップを作成し、県に提出した。書記は、右 GYT ミーティングの議事録を開催後 2 日以内に作成し、県庁、村人、DYT に送付した。書記は忙しい。農道、支線道路、水道施設、吊橋、などの建設を検討したが、最終的には、最も重要で古い橋の改修 (新規建設になる) にした。

国会議員は国会開会中のため同ワークショップに参加できなかったが、事業が選定されるまでのプロセスは適切であり問題はない。通常、地域開発において、道路、電気、橋に要望が集まる。国会議員の役割は、このプロセスを監視することであり、不正が確認された際は、県に報告する。地区長に実施能力の不足が確認される場合は、GYT によってその不足分を補っている。地区間において公平性を確保・モニターすることは重要である。

日時 9 月 3 日 (金) 9 : 00 ~ 10 : 00

訪問先 ハ県 県庁

面談者

M.B.Mongar 土木エンジニア課課長

協議内容

県土木課には課長の他 6 名の職員が勤務しているが、現在、県下に 10 ~ 12 の事業を担当するほか、本プロジェクトにより新たに 3 つ地区センター建設と 5 つの事業が追加されるので、エンジニア職員の不足は深刻な問題である。想定される契約方法は以下のとおり。

1) カチヨ地区について

GYTによる入札を通じた業者契約である。その際の契約の署名は、PMO、業者、地区長、県エンジニア課となる。詳細設計にかかる調査、見積もり作成、NECによる許可に2ヶ月かかる。その後、入札に2ヶ月かかる。来年の2月には工事が開始し、4ヶ月で完工する計算である。

2) ウェス地区について

業者を必要としない比較的小規模事業については、県担当セクターによる直接実施となる。その際の契約の署名は、PMO、地区長、県知事である。GYTが県庁に技術支援、材料を要請する。その後、詳細設計にかかる調査、見積もり作成を行う。不熟練労働力は住民の負担となる場合がある。

3) ジ地区について

GYTによる入札を通じた業者契約となる。プロセスは上記1)と同様であるが、橋建設の場合は、NECの許可を必要としないため、時間は短縮される。工事に4ヶ月かかると思われる。

4) サメ地区について

県担当セクターによる直接実施となる。プロセスは上記2)と同様である。県は、パイプ、セメント、技術労働者を提供する。

5) Sangbe (サンベ) 地区について

GYTによる入札を通じた業者契約である。パワーティラー道路建設にかかる費用は予算内である。建設期間は4ヶ月である。しかし、この事業については更なるフィージビリティ調査が必要である。建設地が村から100キロも離れているおり、村をつなぐ道の建設も併せて必要となるからである。GYTミーティングに出席しなかったため、事業のフィージビリティについて、その場で指摘することができなかった。

住民による直接実施はまだ県としては経験していない。住民による直接実施とは、寺の改修事業にみられるような、住民が資金を捻出し事業を実施することと認識する。50万ヌルタム以下の事業であれば、Geog住民の裁量で決定できるが、その実施過程が、チャスリムに沿うことが条件となる。

日時 9月3日(金) 10:00~11:00

訪問先 ハ県 県庁

面談者

Mr. Tanka Nath Mishra 地区会計士

協議内容

地区月間会計報告書の様式を入手。地区提出の月間会計報告書、見積もりや領収書など

を添付した Disbursement Voucher (支出依頼書) などの書類の写真を撮影。会計関係書類は高度に保管されている。

日時 9月3日(金) 11:00~12:00

訪問先 ハ県 県庁

面談者

Mr. G.B.Chettri, 企画官

協議内容

県企画課は1人の職員のみである。第9次5ヵ年計画にない計画を本プロジェクトで実施する場合、PMOと県企画官が財務省に計画の組み込みを申請する。県企画官は県土木官とともに各事業の見積もり書を作成する。現在、第9次5ヵ年計画の中期評価が行われている。JICA用の口座を開設し、専用の財務コードを持つことは、適切な措置である。過去に、財務省は、ECの Watershed Management 事業に対し専用の財務コードを付与した。

現在、BAS(Budget and Accounting System)を活用しているが、各課1人を選出し、同システムの研修を1週間程度行うことは重要である。短期専門家については、土木技術者のほか、コンピュータープログラマーが必要である。ガイドラインにより、半年ごとの活動報告書を提出する。第三国研修については、タイ、ヴェトナムの視察が考えられる。

日時 9月3日(金) 9:00~10:30

訪問先 タシガン県 県庁

面談者

Dasho Namgey Wangchuk 県知事

協議内容

1. パイロットプロジェクトに関する所感

JICAが地方分権にかかわるプロジェクトを行うのは非常に興味深い。他国(注:東南アジア諸国)での経験を生かしてほしい。

国王の強力なイニシアティブでこの地方分権を進めているが、国民がその王が望む責務に絶えうるかが問題である。未だ国民の意識がその段階に来ていない事は認識しているが、王は待てないとの事であった。そういった意味でもパイロットプロジェクトにかかる期待は大きい。

既存の地区事務所が流された地区があるので、できればその地区(メラ・サクテン)に関しても地区事務所の建設を援助してもらえるとありがたい。

2. 地方分権の重要な要素について

地方分権を推進する上でトレーニングは非常に重要な要素である。何事も形から入ることは重要だと考えている。よって地区事務所の建設及びそれに付随する家具や文房具の整備は重要である。

今の地方分権のシステムがうまくいけば、知事として重要な決断を独断で出す必要がなくなる。よってシステムの構築が重要な要素である。

3. 今後の展望

将来、地区事務所を中心として Geog センターとして各セクターの出先機関を同じ敷地内に建てて住民の利便を図りたい。

人口や物欲、住民ニーズは今後もっと多くなると考えられる。個人的にはスローな開発がブータンには必要だと考えている。

4. その他

RIM トレーニングの受け入れや、ベースラインサーベイの再開は 10 月初旬をめどに考えている。現状、道路封鎖が数 Geog で見受けられる。

現在、タシガン県には 3 台の公用車と 2 台のトラックが配置されている。しかし、4WD 車以外は交通の便が悪く、通行が不可能なため、新しい公用車を援助してほしい。

2004 年の 12 月の時点で次回の調査団が来る事が望ましい。その際には道路状況もよく、建設中の地区事務所を調査団に見せることができる。

日時 9月3日(金) 10:30~12:30

訪問先 タシガン県 県庁 (DYT 会議室)

面談者

Mr.Ugyen Dorji DYT 議長

その他地区長 4 名、県庁関係者 3 名

協議内容

1. パイロットプロジェクトの提案について

- 各家に清潔なトイレを設置する。
- ミーティングホールの建設
- 上水道整備事業
- 社寺の修復工事事業
- マイクとそれに付随する放送設備

などがあげられる。しかし、提案の中には第 9 次 5 年計画に沿っていないものもあり、そのプロジェクト選定は難しい。

2. プランニングプロセスについて

- 各 Geog において各 Tsogpa がそれぞれの Chiog で住民集会を開き、その中で合議の上の提案を出す。
- その各提案を GYT ミーティングで発表し、Geog としての方針を決定している。

3. 地域住民による労働提供の実態

- 労働提供には報酬を受け取るものと無報酬のものに分けることができる。
- 報酬を受け取るものの例としてドナーもしくは各省庁の予算があるプロジェクトが上げられる。
- 無報酬の労働としては保健所建設、農道建設、コミュニティスクール建設・メンテナンス、各種歩道整備などがある。これらは基本的に地域の為に作るものである。

4. 管理組合の状況

- 管理組合の種類は各 Geog によって違いが見受けられるが、コミュニティマネージメントグループとして水管理組合、農業組合、織物事業組合、社寺管理組合等が挙げられる。
- 援助によって作られたものに関しては組合を作って管理するのが原則である。実際に多少の修理や素人でもできるメンテナンス業務は自らの手で行う。

日時 9月3日(金) 15:00~17:00

訪問先 Khaling (カリン) 地区

面談者

Mr.Kezang Dorji 地区長

Mr.Tashi Dorji 副地区長

その他村長 4名

協議内容

1. カリン地区概要

- カリン Geog は 570 世帯で約人口 5000 人である。人口における男女比は女性のほうが男性よりも多い。
- Tsogpa は 10 名いる。ひとつの Chiog は約 60 世帯で、Tsogpa が 1 日以内にすべての家を回る距離にすべての世帯がある。
- 主な産業は農業で、換金作物としてジャガイモととうもろこしがある。
- 12 月に土地を耕し、1~2 月はジャガイモととうもろこしの種まき、4~6 月は収穫及び収穫物をインド国境へ運ぶ為忙しい。7 月はそばやマスタードの種まきをし、10 月には収穫する。このような年間サイクルをとっている。

- 地区事務所は老朽化したものがあり、今回の JICA の援助で立替をする予定である。
- 今年 7 月の水害の被害は甚大で、インフラは復旧したものの、多くの家が地すべりによって倒壊している。地区長の家も倒壊した。

2. 地区開発議会 (GYT) 及び執務状況

- 地区長の勤務体制は日勤で、月曜日から金曜日は常に副地区長と Dungmi (クラーク) と共に駐在している。
- GYT ミーティングは年に 4 回、緊急に開催することもある。第 19 回の GYT では道路、水道などの新設、寺の修理などが議題になった。
- 村長が行うミーティングはその集落の中で比較的大きな家の居間、もしくは寺の中で行っている。

3. 地域住民による労働提供の実態

- 18 歳以下の労働提供は法律で禁止されている為、行っていない。
- 昨年の例をあげると、コミュニティスクール建設の為 20~25 日人/一世帯、吊り橋建設は一ヶ月人/一世帯の無報酬労働があった。
- 労働をする人は比較的女性が多い。また土日に学校が休みの学生も手伝うことがある。

4. 今回の JICA プロジェクトに対する感想

- 地区事務所の建設は非常にありがたい。今は大きな寄り合いは近くの学校の施設を使わせてもらっている。しかし、それは学校が休みのときに限られる。
- Geog に注目してくれたことに感謝している。
- できればレイバーコントリビューションを強制しないで欲しい。

日時 9月4日(土) 10:30~15:00

訪問先 Bartsham (バルツァム) 地区

面談者

Mr.Neten Duba 地区長

その他 GYT メンバー (Dungmi、村長 8 名)

GYT オブザーバー (チミ、ゴムチェン、農業、保健、教育、森林の各セクターの政府関係者)

協議内容

1. GYT ミーティング概要

- 議事録 (添付資料) によると会議は通常 1 日で行われる。
- 議事進行はディグラムナムジャ (ブータンの礼儀作法) に沿って進行される。

- 会議は伝統的な開催の儀に沿って僧侶の祈祷と共に始まる。
- 会議の大まかな流れは開催の儀、地区長挨拶、地区の昨年度実績報告、今年度の計画報告、各セクターヘッドによるセクター毎の定期報告、それに対する質問、一般議題、討論、閉会の儀といったふうに行われた。
- 今回の一般議題は、地区事務所建設にかかわる事、JICA のパイロットプロジェクトに係わる説明が中心であった。

2. 村長に対するインタビュー

- Tsogpa の任務の難しい点は、村人や地区長に緊急に呼ばれる事が多いこと、また村人に呼ばれても相手が酔っており長時間に渡って時間を割かなければならなくなったりする事、集落の会議をするときなどは自腹でお茶やお茶請けの用意をしなければならないことなどがあげられる。
- Chiog ミーティングは年に 4 回、不定期には何度も集まっている。そこでは男性の参加者が多く、彼らや組合の代表者などが会議のイニシアティブを取ることが多い。
- 多くの村長は地区事務所まで徒歩 3 時間から半日のところに住んでいる。
- 村長が行うミーティングはその集落の中で比較的大きな家の居間、もしくは寺の中で行っている。
- 実際に我々が欲しいのは野生の動物よけの柵である。これらは農業省に言ってもナンの解決にもならない。でも野生の動物による作物への被害は深刻である。

3. GYT の中での議論の一部

- (村長) 水害でノートや教科書をなくした子供が多いので再度支給して欲しい。
- (校長) 今年度の予算は来年の学校改築のため大幅に削減されている。よって新しい教科書を買う予算は無い。
- (村長) コミュニティスクールまで農道を作りたいのだからある程度私有地を接収しなければならない。しかし、地主は了承してくれないのだからどうしたらよいか？
- (地区長) 地主の了解が無ければ農道は作れません。もう一度 Chiwog に帰って話し合いを持ってください。

日時 9月5日(日) 10:00~13:30

訪問先 ブムタム県 Chhoekor (チョコレート) 区

面談者

Sanglen 副地区長

協議内容

1. 地区センター建設、橋梁建設について

Geog 事務所は今年 7 月から政府により建設されている。建設期間は 4 ヶ月である。業者契約で労働力は地元住民を使っているが、賃金が支払われている。現在、Geog 事務所は ORC 内に間借りしている。Chhoekor 区では、Toktozam 村のベイリー式橋（農道の延長工事含む）と Dhur 村の RCC(Reinforce Cement Concrete)式橋の建設が優先度の高い事業として選ばれた。前者の橋建設予定地の近くには去年まで臨時の橋があったが、流されてしまった。農産物の運搬も可能な車両走行可能な橋が必要であり、この建設により対岸に住む 15 村 130 世帯が裨益する。一番近くの農道まで 11.5 キロあり、この辺りまでは森林資源・木材を運搬する林道がある。この林道から橋建設予定地までの農道工事も同時に本プロジェクトで行っていく。この計画について、今年 6 月に既に建設局より許可が下りている。しかし第 9 次 5 カ年計画に含まれていない。直接裨益する 6 村の住民は不熟練労働者として石割りや運搬などの労働力を提供する。また、大日本土木による他の橋梁建設工事から引き渡された掘削機を CMU(Central Maintenance Unit)から借り受けるほか、余った橋板も活用する予定である。セメント、ノット、ボルトの材料を本プロジェクトで買う。

橋建設は県担当セクターによる実施となり、熟練労働者が雇われる。9 月中旬から地元で供給できる建設材料を採集する予定である。セメントは寒くなると割れやすくなるため、10 月下旬までにセメントの作業を始めたい。

同事業の残金を Dhur 村の RCC 橋建設費に充てる。今年度の政府予算により 1.7 キロの農道工事が 9 月下旬より予定されている。しかし、間に川を挟むが橋の建設は計画に入っていない。対岸には 80 世帯が暮らしており、現在、人しか通れない吊橋を使っている。RIM のワークショップにより出てきた新規案件であり、Toktozam 橋建設の技術査定をみつつ、GYT との協議に入る予定であり、まだ、県庁にはプロポーザルを出していない。

2) RIM のワークショップについて

2 日間の GYT ミーティングが実施されたのち村の寄り合いが開かれた。この Geog には 13 村 11 人の村長がおり、11 の案件が検討された。この Geog は北部と南部に分かれており、南部に比べ北部は開発が遅れているため、北部地域から優先的に Dhur 橋建設が選ばれた。このワークショップにより、開発事業の計画、実施、ブックキーピングを学んだ。Toktozam 村のプロポーザルは DYT の承認を近日中に得る予定である。

限られた予算で事業を進めていく際、住民の労働提供が必要な場合は GYT で協議される。本案件も協議され、その議事録および村長と地区長間の契約の書類がある。

日時 9 月 6 日 (月) 9:30~12:00

訪問先 プムタム県県庁

面談者

Sangay Wangchuk 副知事

Dechen Lhendup 財務官

Yad Kumar Pradan 企画官

Tenpe Gyeltshen 土木エンジニア

Tadin Phurba Chume 地区長

Tshewang Jigme Ura 地区長

Karma Thinley Tang 地区長

Sangle Chhoekor 副地区長

協議内容

7月15日にRIMにより内務省にて行われたワークショップに当該県の企画官、財務官も参加した。本プロジェクトのガイドラインについて賛否ともども様々な課題について議論が行われた。右ワークショップを基に、各地区によりパイロットプロジェクトの選定がなされた。殆どが車両道路、農道、歩道など道路関係のプロジェクトであった。9月2日に、GYTが承認したプロジェクトプロポーザル案のリストを内務省およびPMOに提出した。近日中に、DYTによる承認がおりるが、その間、県土木エンジニアにより作成された詳細設計、見積もり書を最終プロジェクトプロポーザルに添付して内務省およびPMOに提出する予定である。県下のプロジェクトは全て県担当部門による直接実施である。この選択は、①小規模事業である、②業者へのマージンが免除される、③入札手続に費やす時間を省く、ことを思慮した決定である。これらプロジェクトは第9次5ヵ年計画に含まれていないが、PMOと財務省企画局により、同計画に組み込まれると認識している。

JICAによる条件として、住民負担を一律5%以上としているが、実際の実施においては、30%以上が見込まれると思う。パイロットプロジェクトに関し、GYTでは実施委員会、モニタリング委員会が設立している。9月～10月の実施開始を予定したい。Chume地区において道路整備を要請したが、農道全長のうち、JICAによる整備を2.6キロ、ECRDP(Eastern Center for Regional Development Program)による整備を1.4キロに分けたい。また、Toktozam村の橋に関しては、既にECRDPから50万ヌルタムの拠出があり、JICAによるベイリー橋建設の一部分に充当したい。

地区センター入札に関しては、Ura地区では今月21日を入札書類の締め切り、同日開札、24日にGYT入札委員会の開催および決定としたい。また、Tang地区では、今月27日に入札書類締め切りおよび開札、29日にGYT入札委員会の開催、30日にGYTによる決定としたい。

短家専門家の派遣については、現在、特段要望しない。

研修については、土木、会計・財務、総務にかかる研修ニーズがある。県庁に研修予算はない。今月下旬に実施予定の本プロジェクトのデータ管理研修に県からコンピュータープログラマーと総務補佐が参加する予定である。

日時 9月5日(日) 8:30～11:00

訪問先 タシガンホテル

面談者

Mr.UgyenDorji DYT 議長

Kanglung 地区長

協議内容

1. ガップになった経緯

- 地域の人々から推薦されて 1999 年に初めてガップに成った。現在、ガップは 3 期目である。DYT の初代議長には 2002 年以来就任している。
- 2002 年ガップの責務が大幅に変わり、非常に興味を持って仕事にあたっている。それ以前、ガップはあまり仕事がなかった。

2. DYT における議長の役割

- 年 4 回の DYT の開催を決める。そして安全上の非常事態や緊急対応を求められるときには臨時の DYT を開催することができる。
- 今回の水害時はまさに非常事態だったので臨時 DYT を開催するタイミングだったのだが、道路が寸断されコミュニケーションが取れない状態だった為召集がかけられなかった。
- 議長は DYT の議事録を書いたり、DYT からの提案書等を書く責務を負っている。
- DYT の議事が Chathrim に沿っているかどうかを判断する責務がある。
- 現状の DYT ミーティングの議題は多くの場合 GYT ミーティングを通過しているため、あまり積極的にその可否について判断するために時間を費やしていない。しかし、GYT を通過して挙がってくる提案には本当の住民のニーズが潜在していると考えている。

3. 今までの地方自治との大きな違い

- 今までの提案等の決定はすべて県知事決済で、自分の意見を怖くて言えなかった。しかし、今は地区長が決済権を持っているので本当のニーズを声に出して言える。加えて県知事にはインフォーマルに会う機会が無く、住民が直接県知事に意見を言える場は無かったが、今では地区長に直接言うことができる。
- 第 8 次 5 ヶ年計画は基本的にすべての開発計画はトップダウンであった。これらの計画の履行は MUST であった。しかし、第 9 次 5 ヶ年計画は住民が主体的に係わって決めている為、多くの住民は計画に興味を持って係わってくれる。

4. パイロットプロジェクトの提案について

- 地区長は未だ自分で提案を組み立てる能力が無い為、各セクターヘッドの協力が不可欠である。
- プロポーザルがインフラ整備に偏る理由は、必然性が一番高いからである。本当は換

金作物などのプロジェクトを行いたいのだが、1. 共有しているスペースがコミュニティに無い、2. マーケティングに関するスキルが無い、3. 多くの農家がすでに作っている品種は採用できない等の理由がある。

5. 村長システムについて

- 村長は無給で仕事を行っており大変な責務である。今後彼らに給料を上げるようにしないと成り手がなくなるのではと懸念している。
- 村長の特典は無給労働奉仕の際に、自ら手を汚す必要無く、自分の采配で奉仕する人を決めることができることぐらいである。

6. Geog 内に設置する組合について

- Kanglung Geog には現在 5 つの組合が存在する。(社寺修復、水供給、灌漑、ジャガイモ、ソーシャルサービス)。これらの組合には政府の金銭的な援助が入っている。
- ひとつの組合の構成人数は約 6~7 人で、構成は議長、次官、会計を含んでいる。ただし組合員になる資格は 1. 19 歳以上の人、2. 政府関係者はなれない、3. 性別は問わない、4. Tsogpa は組合員に成ることができる、などの規定がある。
- 伝統的な制度として Shabtog と呼ばれる労働提供の形があった。これはお祭りの手伝いや社寺のメンテナンスのときに召集される無報酬の労働である。あくまでも自分の Chiog の範囲の事は自分の Chiog の構成員で行った。

日時 9月6日(月) 14:30~17:00

訪問先 ブムタム県 Tang (タン) 地区

面談者

Karma Thinley 地区長

協議内容

1) 支線道路整備計画の選定プロセスおよび RIM の研修について

Tang 地区は全長 27 キロある支線道路のうち特に整備が遅れている 10 キロの整備を要請している。この整備事業により全地区 252 世帯のうち 180 世帯が裨益する。

RIM によるワークショップでは、まず、GYT ミーティングが開催され、その後 9 名の村長が村の寄り合いを開き、多くのプロジェクトが提案された。その内 9 案件(各村長につき 1 案件)に絞った。その後 2 時間に及ぶ GYT ミーティングを行い最終的に本案件になった。なお、GYT ミーティングには県のセクタースタッフは参加していなかった。第 9 次 5 年計画は既に政府により策定されており、その中から地区が優先事業を選択するといったプロセスであった。RIM の研修により、どのようにニーズの選定、計画を行うか学ぶことができ、第 10 次 5 年計画の策定過程において得た技術を活かせると思う。

2) 住民負担や管理・投入について

252世帯の各世帯から10日間の労働提供を行うことが、GYTミーティングにおいて協議され承認されている。貨幣価値に換算すると80万ヌルタムになると思う。道路整備では、石材は地元で供給でき、JICAの資金は殆ど運搬費とローラー車両借上費に充てる。セメント作業については、この辺りは比較的温暖で、冬でも行うことができる。同プロジェクトに関して、4名のGYTメンバーから構成される実施委員会（無給）と4名のGYTメンバーから構成されるモニタリング委員会（無給）が設立された。また、施工監督者を地区より雇上（日当150ヌルタム）する予定である。

3) 地区センター建設について

現在使用している地区事務所は、RNRセンターの土地に建っているため、他の土地に移転する必要がある。地区事務所の建設予定地に2つ候補が上がっているが、1つは政府の土地、もう1つは私有地である。因みに平坦な土地は私有地であり、交渉が難航している。

日時 9月6日（月）

訪問先 タシガン県県庁

面談者

Mr.Langa Dorji 県エンジニア官

Mr.Dawa Chogyel 県エンジニア官補佐

協議内容

1. タシガン県技術部門概要

- 現在、DE1名、ADE1名、他14名の構成である。総勢16名の技術者で16箇所のGeogにおける工事を監理監督している。
- 今の仕事の割り振りは各Geogに担当を振り分けているおり、将来的にはセクター別に担当分けをやり直す考えがある。
- 現在、業務の9割が教育省関係である。その他の業務は橋、農道、BHU施設、RNRセンターの建設など多岐にわたっている。
- Geogでの工事内容によっては（橋など）現場に常駐しなくては成らない場合が多く、技術者の数が不足している。

2. GYT（Geog）からのプロポーザルに対する責務

- 基本的にプロポーザルを作成する段階から関与する機会が多い。非公式に地区長からの依頼を受けた技術者は現地に赴き技術的な指導をする。
- DYTの中でGYTからあがってきたプロポーザルに対してDEはその可否をアドヴァ

イスし、DYTの決定に対して責任を持つ。

- DYTを通過し、予算が付いたプロポーザルに対して県の技術部門はそのプロポーザル作成に関して作成補助及び英文への翻訳等の業務を手助けする責務を負う。
- 通常、吊り橋工事などは規模の小さいものでも全長30mで300万円の工事費がかかるため、プロポーザルにおける予算的なコンサルティングも同時に行う。

3. タシガン県での工事に係わる留意点

- タシガン県ではAクラスの建設会社は3社しかなく、主にCクラスとPettyクラスの業者が多い。
- タシガン県の農閑期は雨季の6～8月なのでこの時期は比較的農民による労働提供は受けやすい。他の時期として12～2月の田起こしや種まき時には女性を中心とした労働提供が受けやすい。
- タシガン県では技能を持った労働者（ブータン人）の確保が難しく、いまだに技能工は外国人労働者（インド人）に頼らざるを得ない。
- 2004年9月現在、16Geog中9Geogが道路での移動ができない状況である。その内Bidung、Merak、Uzorongの3Geogは道路建設中、Phongmey、Thrimshingの2Geogは洪水のため道路が閉鎖されているが、10月には復旧の見込みである。

日時 9月6日（月）

訪問先 タシガン県県庁

面談者

Mr.Tashi Wangyel 県財務官

協議内容

1. タシガン県会計部門概要

- 現在、DFO1名、ADFO1名、他12名の構成である。その他、Geogアカウントとして4名が県に勤務している。
- 今の仕事の割り振りは各Geogに担当を振り分けている訳ではなく、全員で全Geogを担当している。
- 現在、業務の5割がGeogに由来している。残りの業務は県の業務である。
- Geogアカウントは本来、業務の内容によっては現場に常駐しなくては成らないが、銀行が県庁前にしかない地理的理由と、地区長との癒着を憂慮して現状県庁勤務としている。

2. GYT（Geog）に対する責務

- 基本的にはプロポーザルを作成する段階では関与しない、また作成にあたって手助け

もしない。

- DYT の中で GYT からあがってきたプロポーザルに対して DFO がその可否をアドヴァイスし、DYT の決定に対して責任を持つ。
- DYT を通過し、予算が付いたプロポーザルに対して県の会計部門はその支払い手続きに必要な書類に関して作成補助及び英文への翻訳等の責務を負う。
- 通常、地区長個人に大量の現金が支払われることは無く（5000Nu 以下は経費扱いなので地区長の口座に振り込まれる可能性はある）、基本的には直接契約当事者である建設会社や商社名義の小切手として出金される。
- 1 枚の小切手の発行に関しても地区長、県財務官兩名の署名が必要である。
- Geog はその Geog 内から集まった土地税や罰金等を管理する口座と、政府系から出金されたお金を管理する口座の 2 種類の口座がある。

日時 9月6日（月）

訪問先 タシガン県県庁

面談者

Mr.Delma 土地登録官

協議内容

1. タシガン県の土地利用概要

- 大まかに言えばタシガン県の面積の 9 割が私有地（森林を含む）で、残りが政府系の土地である。
- 土地利用の観点から見れば総面積の約 7 割が耕作不応地（森林を含む）で、残りの 3 割が水田、畑作地である。

2. 土地収用に対する責務

- 基本的には土地収用を行う際、現地に地区長や DE、地主と共に現地に立ち会う。
- 土地収用をする場合の地主に対する支払いは 1. Wet Land に関しては 1 エーカーあたり 35000Nu、2. Dry Land に関しては 1 エーカーあたり 20000Nu、3. 耕作不可・不応地に対しては 1 エーカーあたり 5000Nu となっている。

日時 9月7日（火） 10:30~13:30

訪問先 ブムタム県 Ura（ウラ）地区

面談者

Mr.Tshewang Gigme、地区長

Mr.Uggen Dorji Tharshong、村長

Mr.Tenjin Charey、村長

1) 地区センター建設について

現在の地区センターは住民により建設されたが、基盤が脆弱な上、破損が酷いため、新規に建設する必要がある。この Geog センターを解体した石材を新 Geog センター建設に活用し、コストを基準価格以下に抑えたい。また、請負業者が出ない場合は、コストを抑えつつ住民による地区センター建設を実現し、その残金でコミュニティーホールを建設することが可能か検討願いたい。

2) 歩道整備について

Ura 地区にて出ている要望は 4 つの主要な歩道の整備である。これら歩道は既存の排水溝沿いにあり、その整備とともに歩道下に水道官を通し、安全な水の確保とともに衛生的な環境をつくりたい。簡易水道事業は第 9 次 5 ヶ年計画に含まれ政府予算に含まれている。既に 10 箇所水道場が設置されており、新しく 18 箇所建設予定であり、254 世帯あるこの地区のうち 55 世帯に水道官が通ることになる。本事業の裨益住民により、無償の不熟練労働力の提供が行われるとともに、既存のセメント、石材などの材料を活用していく予定である。JICA による資金は運送費、石材、ハンマーなど簡易工具に使われる。また、熟練労働者に関しては、各村より 2 名ずつ選定し雇うこととなる。工期は 3 ヶ月である。県による技術設計や見積書作成のため、今月 9 日に県の調査が入る予定である。

3) RIM のワークショップについて

RIM のワークショップでは 7 村が歩道整備を優先事業として挙げた。この決定は、GYT ミーティングののち RIM の観察の下、各村の寄り合いでなされた。このように村人や GYT と協議して計画を策定していくプロセスは初めてであり、右ワークショップで多くを学んだ。このようなワークショップは有意義と考えており、更なる研修が必要である。なお、現在、GYT のモニタリング委員会や各村の実施委員会が本プロジェクトの運営を助けることとなる。

日時 9月7日(火) 16:30~18:30

訪問先 ブムタム県

面談者

Dechen Lhendup 財務官

Yad Kumar Pradan 企画官

Tenpe Gyeltshen 土木エンジニア

1) 政府事業や実施時期について

今回提出されたプロポーザルのうち、Tang 地区の支線道路建設以外は政府事業との共同事業となる。Chumey 地区の農道整備は、道路局が 7 キロ、ECRDP が 1.4 キロ、JICA が 2.6 キロ整備していく。また、Chhoekhor 地区のベイリー式橋梁建設では、50 万ヌルタムが ECRDP より抛出済みであり。Ura 地区の簡易水道事業は今次 5 ヶ年計画により実施中である。これら 4 つのプロポーザルは NEC の許認可を必要としないため、実施時期を早めることができる。技術的認可も見積書作成も今月 20 日までに終了し、10 月中旬までに実施を開始できる。また、Chhoekhor 地区の事業は来年 9 月までに工事が完了する。

2) 会計報告、経理処理、支出依頼について

パイロットプロジェクトの報告に関しては、ガイドラインにあるように、県計画局作成の半年毎の活動および財務報告が提出されるとともに、県財務局作成の月間会計報告を提出することが可能である。月間報告のうち、JICA が必要とする情報は支出報告書であると思慮される。また、県による地区間の資金再配分については、PLC マターであれば可能であるが、本来はチャスリムどおり DYT の承認が必要とするため、今後内務省、PMO、財務省と引き続き協議する。しかし、ブムタム県に関しては、各地区の残金はないものと思われる。県担当部門による実施の場合、PMO による小切手の発行時期として、GYT 承認のプロポーザルに県の Administrative Approval, 技術的認可および活動表、実施時期を記載した書類を添付した最終プロポーザルに対して DYT が承認する。DYT 承認のプロポーザルを PMO に提出し、PMO は小切手を発行する。同時に、DYT 承認のプロポーザルは内務省に提出され、第 9 次 5 ヶ年計画に組み込まれるよう財務省予算局と協議を行う。また、実施までの期間を短縮するため、DADM による Allotment Account の付与をファックスにて県財務官に通知することが考えられる。

日時 9月8日(水) 8:30~11:30

訪問先 ブムタム県 Chhumey (チョメ) 区

面談者

Mr. Tadin Phurba, 地区長

Mr. Sange Tenjin, 書記官

協議内容

1) 農道整備およびコミュニティホール建設について

全長 11 キロの農道の内、JICA は 2.2 キロ、ECRDP は 1.8 キロ、道路局は 7 キロ (第 9 次 5 ヶ年計画) の整備を行う予定である。農道のメンテナンスは道路局が行う。この建設により 51 世帯が裨益する。しかし、RIM のワークショップでは、殆どの村長がコミュニティホール建設を優先事業として挙げたにもかかわらず、RIM が提示したクライテリアとの整合性を取れなかったため、採択されなかった経緯がある。コミュニティホール建設に

関して再度検討してほしい。

2) 住民負担、契約方法について

過去において、公共事業に住民が参加する場合、最低賃金（100 ヌルタムの日当）が支払われてきたので、本案件についても、労働力を提供する住民に対し最低賃金の支払いを検討してほしい。本案件は県担当部署による直接実施であり、キャタピラー、石材、熟練労働力、起爆装置を JICA 予算で賄う。これは、もう一つの実施形態である業者契約において、住民による無償の労働力提供を避けたいからである。

3) RIM によるワークショップについて

チャスリムや案件の発掘・計画について学べて有意義な内容である。村長も研修対象であったが、今後は、村の寄り合いにおいて、新しい村長に対し研修を受けた村長が研修を実施していきたい。

4) 地区センターについて

一般的に政府が設計した地区センターは、地区事務所や GYT ミーティングとしては用は足りるが、他の住民集会を行うには小さすぎる。

日時 9月9日（木） 10：00～12：00

訪問先 ドュルークホテル

面談者

Mr.Yonten Gyeltshen リトマスコンサルタント

協議内容

1. サーベイの進捗確認

	ハ県	ブムタン県	タシガン県
ファンクショナルサーベイ	現在残っている 2 Chiog (村) の調査 9 月初旬完了予定	完了	未調査
ベースラインサーベイ	現在残っている 2 Chiog (村) の調査 9 月初旬完了予定	完了	8 Geog の調査を残 して完了 (あと 15 日 くらいの仕事量)
報告書	初校完了	9 月中旬に初校完 了予定	1 次データの作表 のみ終了

- タシガン県の各オフィサーには予め質問用紙を送付済み。電話にてその内容を含めて説明をしている。(洪水により通行が遮断された為)

- タシガン県のサーベイは 10 月には再開したいと考えている。
2. 新しいトレーニングのニーズに関して
- 県が最終的にこのデータどのように活用するかが分からない。(調査結果がまとまった段階で、県に対してプレゼンテーションをして欲しいとの提案に対して) 今回の契約には県に対してのプレゼンテーションは入っていない為、別契約なら行っても良い。
 - 県のデータの蓄積に対して疑問を持っている。どのような指標で何をどこに蓄積するかを県に対してトレーニングする必要があると思われる。

日時 9月9日(木) 11:30~14:00

訪問先 王立行政管理院

面談者

Mr. Kaenga Jurmin, Head, Center for Information Technology

Mr. Jit Tshering, Deputy Head, Center for Local Governance

Ms. Sonam Chuki, Center for Local Governance

協議内容

1. データベース管理

9月27日より2週間の期間で予定されているデータベース管理研修について概要説明があった。当初、9月13日の開講を予定していたが、2週間の期間内に祭日が多く含まれるため、延長した。データベース (MS Access) や表計算 (MS Excel)、ネットワーキングを中心とする初歩的内容である。これは、県レベルには IT 知識を持つ職員が極めて少なく、研修員のバックグラウンドは多様なため、基礎知識にテーマを絞った。LAN を導入している県はティンブー県、シャンガン県、およびあと 1 県である。署名を取り交わした PMO との契約書を入手した。

2. パイロットプロジェクトにかかるワークショップ

タシガン県には 10 月下旬に入る予定である。ガイドラインにかかる変更 (資金フロー、PLC) の要請が可能か確認したところ、先方は了承した。県をカウンターパートする事業について、①中央省庁直轄事業 (Deposit Work)、②県担当部門による直接実施の 2 つの実施方法がある。②に関しては、これまで、契約らしきものはなかったが、あえて、契約担当者を挙げれば、①地区長、②県知事、③県担当セクター課長、と思われる。業者契約の場合は、①業者、②地区長、③県担当セクター課長、となる。また、コミュニティーによる直接実施の場合は、GYT 実施委員会が契約相手となる。

今後のワークショップの提案として、①県のインセプションワークショップを半日から 1 日以上に延長する、②県の Debriefing では、RIM による発表ではなく、地区長、副地区長、

書記による発表にする、などがあげられる。また、ブムタム県 Chhomey 区のプロポーザルを変更することについては問題ないが、ワークショップのクライテリアについては、JICA と内務省で確認してほしい。この他、①中央省庁直轄事業への支援、②他ドナーとの連携の可能性について、また、上記変更点については、東京に確認の上、来週末までに回答がほしい。

日時 9月9日(木) 14:00~15:30

訪問先 ドュルークホテル

面談者

Ms. Ms. Karma Doma Tshering プロジェクトマネージャー

協議内容

1. 契約方法、報告について

主に検証作業結果の確認。契約方法については、県担当セクターによる直接実施は、PMO、県知事、DYT 議長間の契約 (GYT プロポーザル添付) とする。また、業者契約の場合は、PMO、コントラクター、GYT 入札委員会 (県土木課のサイン含む) 間の契約とし、県知事のレターが添付される案を翌日に予定されている内務省報告において確認することにした。また、半年毎の活動・財務報告書、月毎の地区会計報告書 (証憑書類として Disbursement Voucher を添付)、DYT ミーティングの議事録の3種類の報告書を PMO に提出することについて同様に翌日の報告において確認することにした。

2. 地方行政局の設置について

地方行政局の Director General に、現在、内務省センサス・住民登録局の Director General である Dasho Sonam Tenzin がなる見込み。この他、Joint Director (2名)、Training Officer (2名)、Program Assistant (1名) の人選が、現在、人事院で行われている。地方行政局は Cooperative & NGO Division と Program Division の2つの部から構成される予定である。

日時 9月10日(金) 10:00~11:30

訪問先 内務省

面談者

Dasho Penden Wangchuk 次官

Dasho Karchung 次官補

Ms. Ms. Karma Doma Tshering プロジェクトマネージャー

協議内容

1. 契約方法、土木エンジニアの配置について

業者契約は経費が高くなるが管理が容易である上、県庁の負担が少なくなる得点がある。可能な限り業者契約にしてほしい。もし、県庁による直営を選択する場合は、土木エンジニアのバックストップ機能を強化してほしい。具体的には、ブムタム県、ハ県に1名ずつ、タンガン県に2名、PMOに1名（施工監理監督レベル）の土木エンジニアのコンサルタントを配置してほしい。

2. 住民負担

中央の政策としてはN.Oである。10年前までは参加型として住民負担を奨励していたが、今後は契約ベースの労働を奨励し、住民の負担を軽減する方向にある。

3. プロジェクト選定のクライテリア

農道は農業省の管轄であり、事業は業者契約に移行している。簡易水道施設は、2002年より全国的に展開している政府事業（UNICEF）があるので、基本的には、本プロジェクトの対象としない。

日時 9月10日（金） 12:00～15:30

訪問先 JICA 事務所

面談者

杉本所長

久保企画調査員

協議内容

1. 業務監査のについて

業務監査によると、入札は原則JICAの規定に沿って行うが、先方政府の制度に則って行う場合、邦人コンサルタントの介入・endorseが可能な形にする。また、今年度で終わる25地区での事業は、来年度も行うかどうか、質問があった。第3国研修方式か、草の根方式か、いずれにせよ、契約や会計について、実施計画書において目的・手段を明確にし、事務所所長に通知することが大切である（9月11日空港にて）。

2. その他

- 土木、建築の分野での協力隊投入の可能性も検討。
- 農道建設に関して、見返り資金が1.5億円ほどある。
- 学校建設15校が実施されている。
- つり橋建設は、草の根でモンガル県、プルチェリン県で実施されている。

TRAINING ON DATABASE AND PC MANAGEMENT FOR
DZONGKAG ADMINISTRATION AND MOHCA PERSONNEL

Duration: Two Weeks (September-2004)

Venue: RIM (Royal Institute of Management), Semtokha

Trainer: Center for Info Tech, RIM

Participants: Approximately 30 support staff from the MoHCA (Ministry of Home and Cultural Affairs) and pilot dzongkhag (district) administrations

The activity 2 2.4 b and 3 3.4 b of the Local Governance and Decentralization Project are similar in-country trainings in the field of database management for MoHCA and dzongkhag administration personnel.

For both the MoHCA and the dzongkhags, developing the capacity of the support staff in managing database and making them more versed with computer skills and basic knowledge of PC maintenance is very important. This would ensure that the staff are able to make use of all the features in their computer to maintain files, records and even make presentations.

Before designing the course, the project management invited the views of the dzongkhag administrations on the type of needs/requirements of their personnel in the field of IT. The RIM has incorporated the needs of the dzongkhags in designing the two-week course on database and PC management. The course (attached for reference) offers networking concepts, managing the internet, emails, advance course in Microsoft Excel and MS Access and basic PC management techniques.

The RIM has been conducting such courses and has all the facilities, course materials, computer labs etc. to impart this training.

(Training content /schedule and cost estimate for the training is attached for reference).

Course Name: Database & PC Management
No. Of participants: 30
Duration: 2 weeks (September 2004)

1. NETWORKING CONCEPTS, INTERNET AND E-MAIL (1 day)

General Objectives:

To introduce concepts of networking, internet and E-mail. How it works and how to use web browser (IE) to surf the internet and obtained the free e-mail account with the Specific Objective enabling the participants to understand and demonstrate/perform the following topics:

- The concepts of LAN & WAN
- Internet & Intranet
- Servers & Clients
- Usage of applications/Services
- Types of connection
- Birth, Devices required for Internet Connection
- Installation of modern & configuration Dial-up configuration
- Define term like URL'S, WWW, Web mail
- Use of Internet Explorer
- E-mail (free mail portal, Outlook Express)
- ISP and Modem (specifying and connecting)

2. Microsoft Excel (2 days)

The General Objectives of this course is to refresh and introduce the participants to the advance label features of Microsoft Excel. It is designed to give knowledge on how to store, retrieve, sort, filter, and most importantly designing the layouts and using the functions and formulas to get accurate and faster results. Providing Specific Objectives in understanding the following:

- ✓ Use of Excel
- ✓ Creating different kinds of layouts.
- ✓ Entering data and using functions for calculations
- ✓ Referencing between different worksheets
- ✓ Retrieve data as per the want of the user
- ✓ Auto filling up the data
- ✓ Creating a system called Password Management System

In-country Training Course for Dzongkhag Personnel,
Ministry of Home & Cultural Affairs

3. BASIC PC MANAGEMENT (1 days)

General Objectives: The course aims to introduce or refresh the candidate on the basic maintenance/management of personal computer along with accessories devices such as monitor, keyboard, mouse, printers, etc. The course will be more focus on troubleshooting.

At the end of the course, the trainees shall be able to:

- ✓ Understand about the PC technology, and identify components
- ✓ Understand and Install OS
- ✓ Troubleshoot problems and maintain minor PC parts
- ✓ Manage disk management
- ✓ Setting up Single and Multiple User Accounts
- ✓ File Compression
- ✓ HDD Defragmentation
- ✓ Know the different Storage Device

4. MS Access (6 days)

- ✓ The fundamentals
- ✓ Creating and Working with a database
- ✓ Finding, Filtering, and Formatting Data
- ✓ Working with Tables and Fields
- ✓ Creating relational Database
- ✓ Working with Queries
- ✓ Working with Forms
- ✓ Working with reports
- ✓ Formatting Forms and Reports
- ✓ Working with macros
- ✓ Using Access with Other Programs

Costing for 10-Days Course at RIM for 30 Participants

Sl.#	Particulars	Amount
1	(A) Training Cost: Honorarium (7 hrs. daily * 10 days * 3 resource person * 200) Preparation (14 hrs * 10 days * 200)	42,000.00 28,000.00
2	(B) Lab Usage: (4 Hrs. Daily * 10 Days * 20 Computers * 100)	80,000.00
3	(C) Handouts & Study Materials (Designing & Reproduction) for 30 participants IT - Computing (30 * 1000)	30,000.00 30,000.00
4	(D) Stationeries (lump sum) - @ 1000/head (30 participants) SUB TOTAL (A+B+C+D) RIM Overheads (20% of A) Coordination Charges (10% of A)	30,000.00 210,000.00 42,000.00 21,000.00
5	Cleaning ceremony (300 per head) TOTAL TRAINING COST	9,000.00
5	Food & beverages: Lunch & Tea (Nu. 155/head * 30 * 10 days)	49,500.00
6	TOTAL COST	331,500.00

Note:

- The total training cost amounts to Nu. 210,000/- only but taking care of food and beverages the total cost amounts to Nu. 331,500/- (The working lunch is not within the package of training cost but have to be deducted from the participant's DSA)
- Working lunch consists of - Rice, 1 Meal, 1 Vegetable & fruit plus 2 tea break @ 155/head
- The training requested will be covered within 10 days
- The participants will be provided full time internet connections & 10 machines free of cost

**TOTAL BUDGET ESTIMATION FOR THE DATABASE AND PC
MANAGEMENT COURSE**

1. RIM's total training cost estimation - Nu. 331,500

2. Training Allowance

a. For 15 participants from the Dzongkhag

$$\text{Nu. } 1000 \times 15 \times 10 = \text{Nu. } 150,000$$

b. For 10 participants from the MoHCA

$$\text{Nu. } 500 \times 10 \times 10 = \text{Nu. } 50,000$$

Total Budget Estimated - Nu. 331,500 + Nu. 150,000 + Nu. 50,000

- Nu. 531,000

TRAINING ON MATERIAL MANAGEMENT FOR
STOREKEEPERS AND PROCURMENT PERSONNEL FROM THE
DZONGKHAG ADMINISTRATIONS

Duration: Two Weeks (October 7- October 20, 2004)

Tentative Venue: Phuentsholing

Trainer: Royal Institute of Management

Participants: Approximately 23 procurement personnel from the district administrations

The activity 2.2.4 c of the Local Governance and Decentralization Project is the in-country training for storekeepers/procurement personnel in the dzongkhags (districts). For the Dzongkhag Administrations, developing the capacity of their storekeepers is of utmost importance to minimize waste, control budget and inventory and developing stronger procurement procedures.

The Royal Institute of Management (RIM) has experience in this field and presently for government employment, storekeepers should undergo training in the RIM. Over the years RIM has tried to introduce new concepts into material management, while at the same time keeping in mind RGoB rules and procedures. This training would serve as an advanced course on material management for the storekeepers in the dzongkhag administrations. The RIM would impart training in store management, material budgeting, procurement procedures, accounting, inventory control, including practical exercises, etc.

(Training content /schedule and cost estimate for the training is attached for reference).

Training On Material Management, Duration: Two Weeks¹
 Tentative Venue: Piling², Tentative Time Frame: (Oct. 7 – Oct 20), 2004

Days	9:30 – 10:45	10:45 – 11:00	11:00- 12:30	12:30 – 1:45	1:45: 2: 45	2:45 – 3:00	3:00 – 5:00
Day 1	Registration & Course opening	Introduction & Course Overview	Numeracy for store accounting	Lunch Break	Exercise on Numeracy	Exercise on Numeracy	Exercise on Numeracy
Day 2	Introduction on material/store management	Tea Break	Material Mgt. Concept & Terminologies	Lunch Break	Material Planning	Tea Break	Material Planning Exercise
Day 3	Material Budgeting	Tea Break	Material Budgeting Exercise	Lunch Break	Material coding	Tea Break	Material Coding Exercise
Day 4	Procurement procedures & rules	Tea Break	Procurement Exercise (CS)	Lunch Break	Procurement Exercise (CS)	Tea Break	Procurement Ordering Exercise (Computer application)
Day 5	Material Inspection and material Receiving	Tea Break	Material Inspection and material Receiving	Lunch Break	Material Issue Procedures	Tea Break	Material Issue Procedures
Day 6	Material Accounting – stock ledger	Tea Break	Material Accounting – stock ledger	Lunch Break	Material Accounting – stock valuation	Tea Break	Computer application on material accounting
Day 7	Store keeping and methods of storing	Tea Break	Store layout Design	Lunch Break	Material Accounting – stock valuation	Tea Break	Computer application on material accounting
Day 8	Store keeping and methods of storing	Tea Break	Store layout Design	Lunch Break	Group work on Store layout Design	Tea Break	Group work presentation
Day 9	Inventory control Levels	Tea Break	Analysis of FSN, VED & ABC	Lunch Break	Computer application on Inventory control	Tea Break	Computer application on Inventory control
Day 10	Material safety & security	Tea Break	Material transfer & disposal	Lunch Break	Site visit to good central stores for internalizing store layout, material coding and safety concepts	Tea Break	Site visit to good central stores for internalizing store layout, material coding and safety concepts
Day 11	Fixed Asset Register maintenance	Tea Break	Fixed Asset Register maintenance	Lunch Break	Computer application on Depreciation & Fixed Assets Schedule	Tea Break	Computer application on Depreciation & Fixed Assets Schedule
Day 12	Total quality Management	Tea Break	Total quality Management	Lunch Break	Course Evaluation	Tea Break	Course Closing

TOTAL BUDGET ESTIMATION FOR TRAINING ON MATERIAL MANAGEMENT

1. RIM's total training cost estimation - Nu. 469,659
449254

2. Training Allowance

a. For participants from Dzongkhag

Nu. 1,000 x 20 x 14 = Nu. 280,000

b. For participants from MoHCA

Nu. 500 x 2 x 14 = Nu. 14,000

Total budget estimated - Nu. 469,659 + Nu. 280,000 + Nu. 14,000

- Nu. 763,659

247254

729254

217600 · Δ 11654

*Cost estimate prepared as per the request of the
Ministry of Home & Cultural Affairs, Thimphu,
Bhutan*

Revised/Final Cost Estimates for a two-week training on Material Management assuming 20 candidates			
Fixed Cost	Units in hrs or heads	Rate in Nu.	Amount
Training Delivery, 2 trainers for 12 days @ 8 hrs a day	192	300.00	57,600.00
Training Material Preparation (twice the training delivery time of 1 person)	192	300.00	57,600.00
Hire of Training Hall, Computer lab & office space Nu 6000 per day for 15 days	15	6,000.00	90,000.00
Daily allowances for two faculty members and one Program Asst. @Nu.500/day	45	500.00	22,500.00
Travel cost for three people (mileage per-KM)			10,000.00
Closing/Certification			7,500.00
Sub-total			245,200.00
Variable cost			
Training material photocopying & binding 20 sets	20	750.00	15,000.00
Training bag that includes writing & filing materials 20 sets	20	750.00	15,000.00
Tea, Refreshment twice daily @ Nu. 75/candidate per day	276	75.00	20,700.00
Working Lunch @ Nu. 180 per day	276	180.00	49,680.00
Sub-total			100,380.00
Institutional overhead (30%) that covers training equipments, adm. & coordination			103,674.00
Total Cost			449,254.00
Average cost			22,462.70
Average Fixed cost			12,260.00
Average Variable cost			10,202.70

?
?
?



དངུལ་རྩིས་ལྷན་ཁག
 རམ་རྒྱུ་དང་རྩིས་དོན་ལས་ཁུངས།
 DEPARTMENT OF BUDGET AND ACCOUNTS
 MINISTRY OF FINANCE

DBA/budget/2004-05/ 264

14th July 2004

The Co-ordinator
 Decentralisation project
 Ministry of Home and Cultural Affairs

Subject: Estimate to conduct workshop for Gups, DFO and gewog Accountants on Financial Management.

Sir,

Please find enclosed herewith the preliminary estimate for conducting the workshop on fiscal decentralization and financial management to Gups, District finance officer and gewog accountants. The workshop will be for three days and even the Dzongkhag sector staff will participate. The workshop is scheduled sometime in October 2004.

This is for your kind information and necessary action.

Yours faithfully,

Lham Nidup
 (Lham Nidup)

Proposed 3 day Workshop for GYT Members
and
Finance Officers of the Dzongkhags

Topics

Day 1: Release and Accounts

- General
 - Current release procedures/requirements
 - Capital release procedures/requirements
 - Preparation of physical and financial plan
 - Preparation and submission of progress reports for works
- Specific (JICA)
 - Implementation of JICA funded activities
 - Release procedures
 - Fund release requirements
 - Submission of reports
- Fund flow
 - RGoB fund flow system
 - Overall donor fund flow procedures
 - JICA fund flow procedures
- Issues/discussions
 - Issues related to release procedures

Day 2: Budget

- General
 - Prioritizing of activities
 - Preparation of capital budget proposals
 - Preparation of current budget proposals
 - Listing of activities funded by donors
 - Submission of proposals

Proposed 3 day Workshop for GYT Members
and
Finance Officers of the Dzongkhags

Topics

Day 1: Release and Accounts

- General
- Specific (JICA)
- Fund flow
- Issues

Day 2: Budget

- General
- Specific (JICA)
- Issues

Day 3: Preliminary Budget

- Discussion on the FY 2005-2006 preliminary budget proposals already submitted to DBA.
- Issues

- Karma Dolma
MOHCA

From
Tin Shing
DYA

- Preparation of three year rolling budget
- All
- Specific (JICA)
 - Prioritizing of activities under JICA funding
- Issues

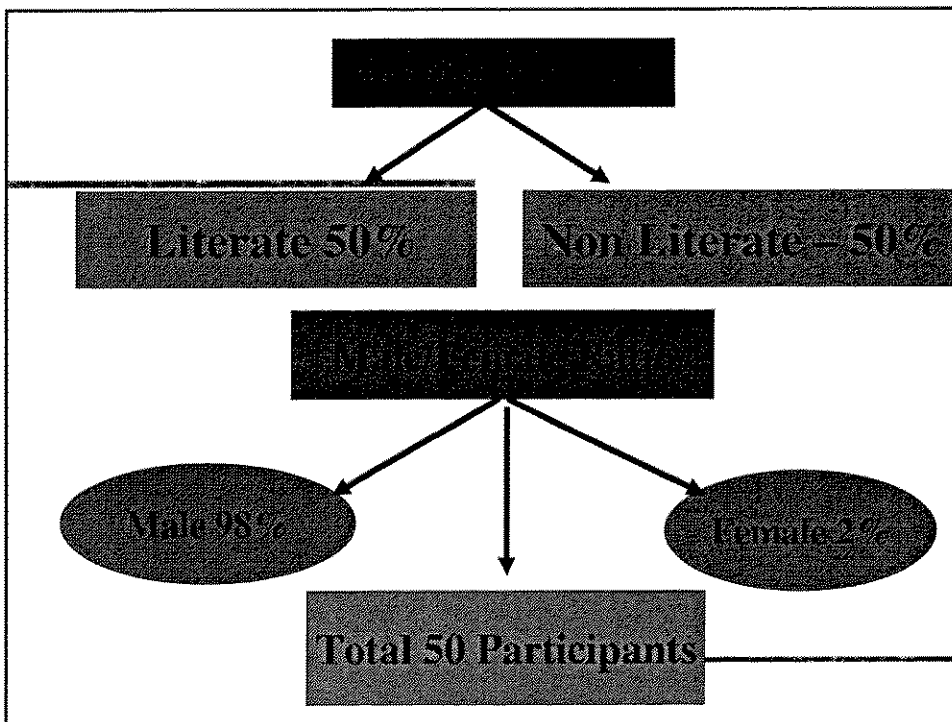
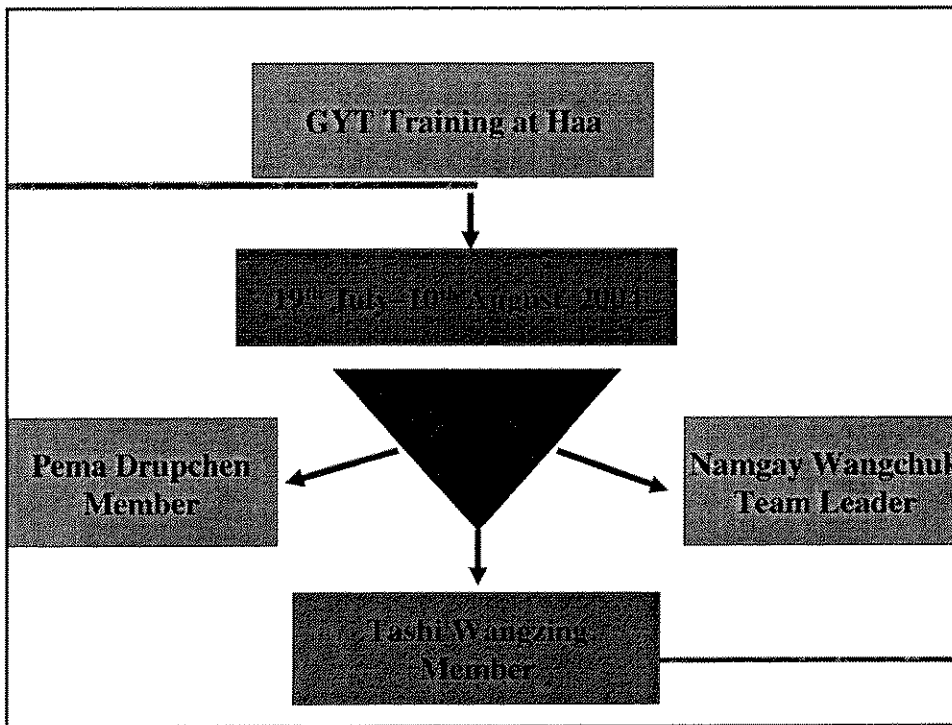
Day 3: Preliminary Budget

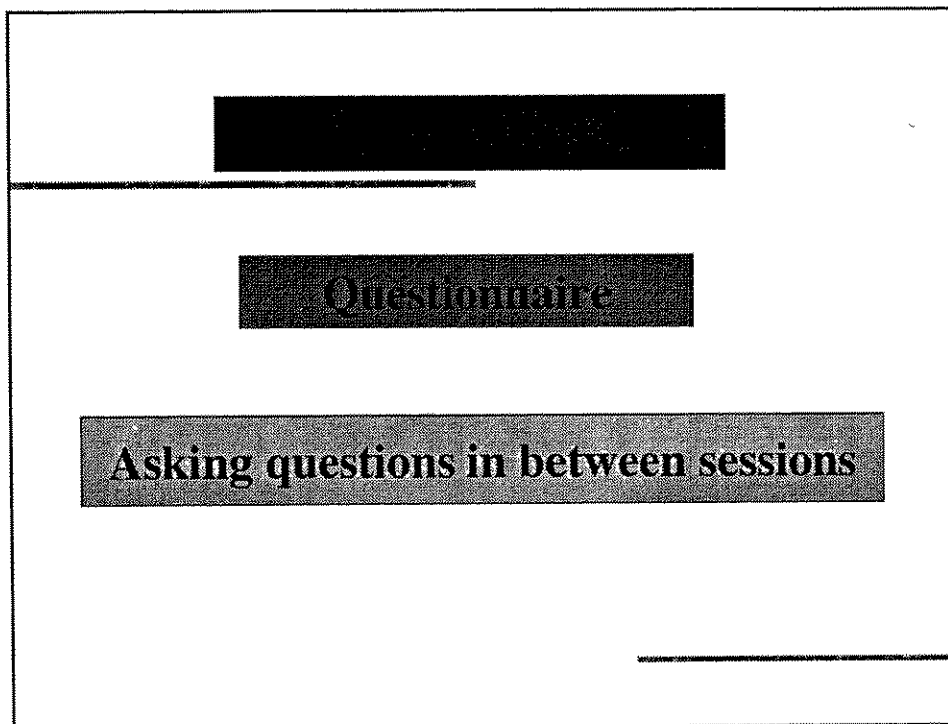
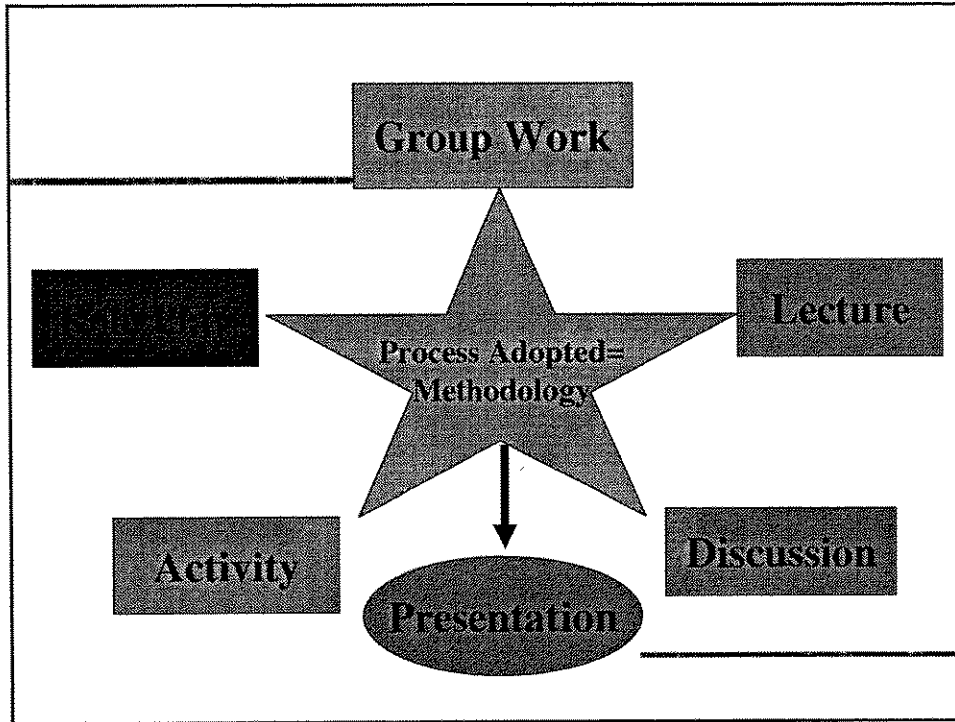
- Discussion on the FY 2005-2006 preliminary budget proposals already submitted to DBA
- Issues

Financial Management Orientation for Gups, DFO, Gewog Accountant.

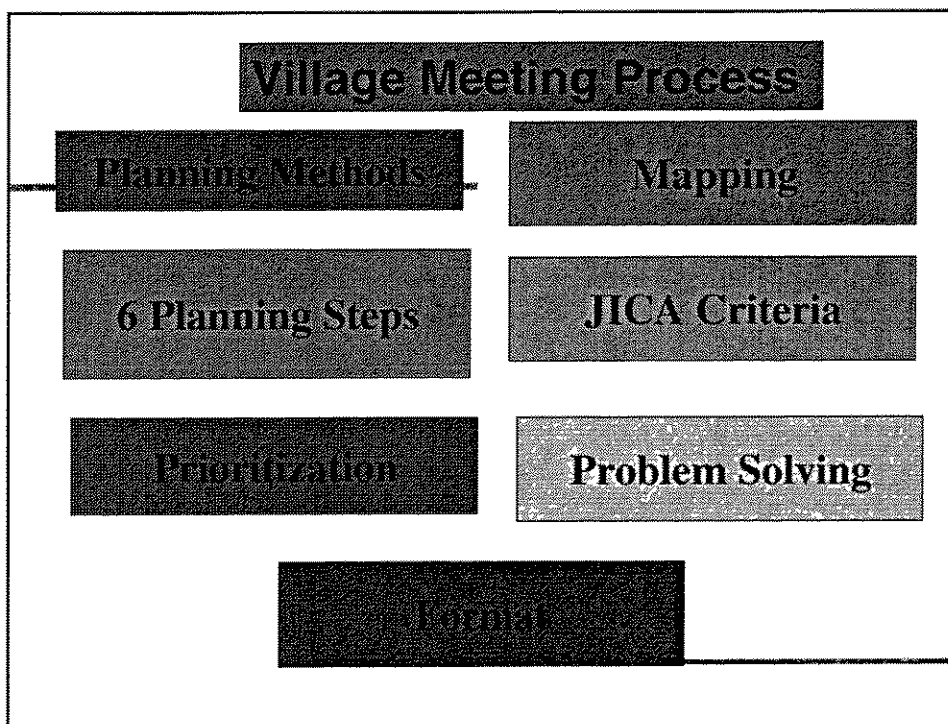
Sl.No.	Expenditure head	working	Amount	Remarks
1	DA for Geog participants	20 x 1px 7days x Nu. 300	422,100.00	Gups
2	TA for Geog participants	20 x 1px 6days x Nu. 300	201,000.00	Gups
3	Tea and snacks	500p x 2x 3 x Nu. 100	300,000.00	2times daily for 3days
4	Working Lunch	500p x 4 x Nu. 300	600,000.00	3days one closing dinner
5	Stationery / other supplies.	500x250	125,000.00	participants
6	Publicity	Kuensel / BBS	50,000.00	25,000 each
7	Vehicle hire	1vehicle x Nu. 14x4000km	28,000.00	One extra vehicle needed.
8	Miscellaneous		10,000.00	
	Total		1,736,100.00	
		US \$ @ 45	38,580.00:	

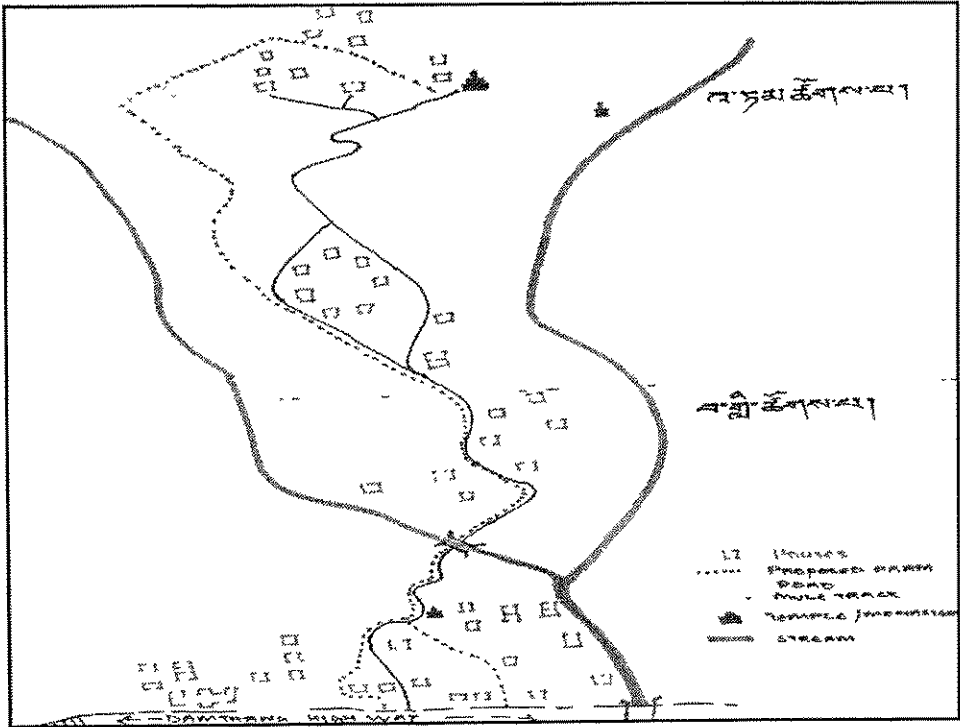
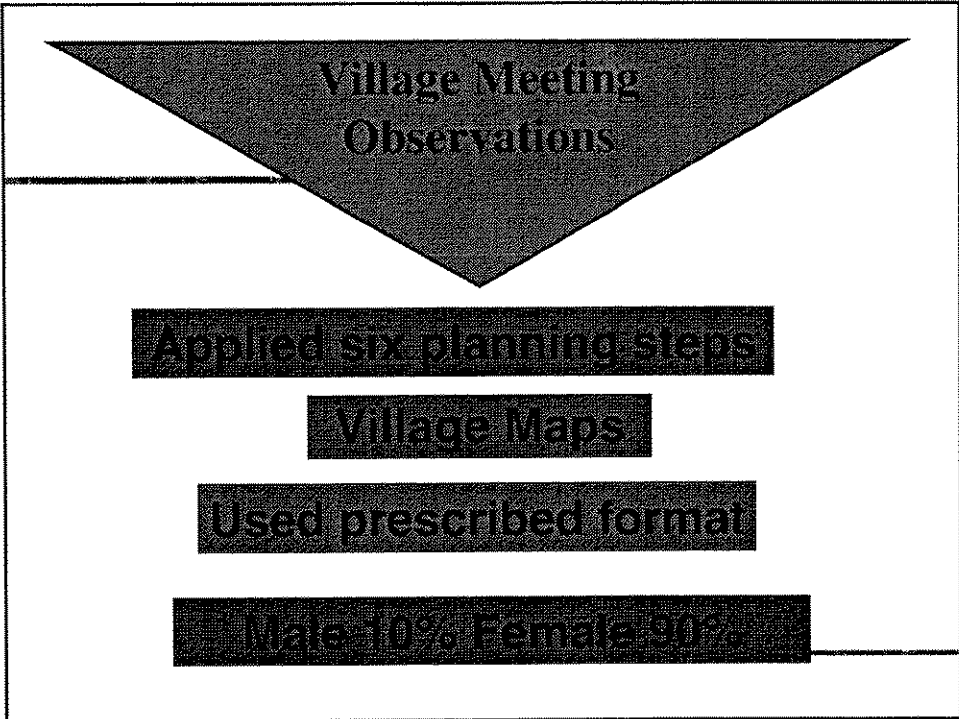
13500\$





Questions		1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Write in order 1-5 for funds flow down with 1- Top Government and 5- GY	x	✓	x	✓	x	✓	✓	x	✓
2	Write in order 1-5 for proposal with 1 – GYT and 5- Government	x	x	x	✓	x	✓	✓	x	✓
3	Describe your own words what decentralization means to you? Circle your answer	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
a	Decentralization of power means every Bhutanese has some say in the decision making process True or False	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
b	Decentralization of power means that power stops at the Gup s level True or False	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
c	Decentralization of power means power moving away from the center to every individuals True or False	✓	✓	✓	✓	x	✓	✓	x	✓
4	How is power devolved to the community Please put numbers 1 to 5 Community, Ministres Geog, National Assembly, Dzongkhag	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
5	Please write the six planning steps in order	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	x
6	Please tick two times when should you use the priority box	✓	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓
7	Please tick two times when should you use the pair wise matrix	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓
8	Please write 1 – 7 in the following steps of problem solving	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	x	x
9	Please write 1 – 5 in the following levels of problem	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓





Geog Proposals

Sf No	Geog	Proposal	Beneficiaries	Implementation modality
1	Katsho	Feeder Road from Baley to katsho Goemba (3 km)	87 house holds	Community with technical support from Dzongkhag
2	Bjey	Suspension Bridge (Chungzam and Toke Chuthagzam)	146 house holds	-do-
3	Sama	Drinking water supply	115 house holds	-do-
4	Esu	Suspension bridge at Gonna and Jive bridge	229 house holds	-do-
5	Sombay	Power tiller road from Lumilakha (samar gewog) towards Sombay	167 house holds)	-do-

All the Proposals are
outside the 9th FYP

Issues

Can Gup participate in contract work for other gewogs

Can the JICA fund be merged with RGoBs fund

Disputed Plans

Issue Continued

- Dzongkhag faces problem in deciding with the community
- Contract, Labor contribution
- No one is interested to become a tshobpa
- Dzongkhag recommends the road to be constructed from Haa for Sombay

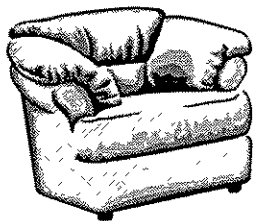
Recommendation

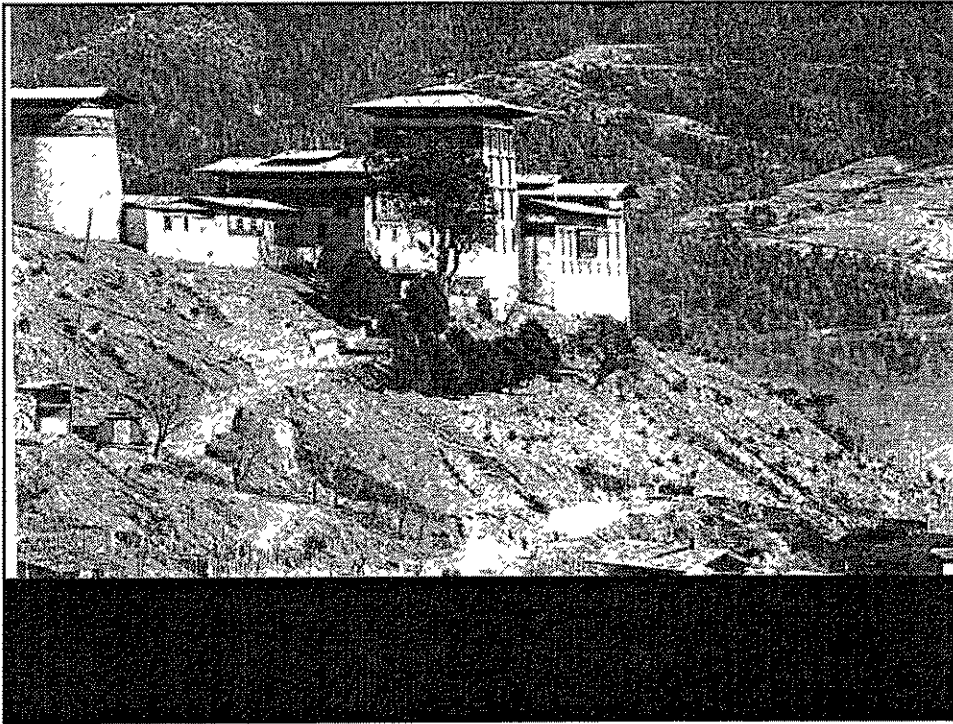
Donor Agency could select garter
geogs

Issues with Central agencies should be
initiate by dzongkhag

Donor/Authority request to combine fund

Tashi Deleg





GYT Members & Extension Staff Information

Geog	GYT Members			Extension Staffs	Grand Total
	Total GYT	% of Literate	% of Illiterate		
Chumme	17	35	65	4	21
Chhoekor	17	71	29	5	22
Tang	13	54	46	5	18
Ura	13	54	46	5	18
	60			19	79

Note: Female (GYT Member) : 06



Doing EA/IA and
identify strategies using
SWOT matrix before
planning



Problem Solving in Geog and Chiog

Problem Solving
(Human knot
exercises)

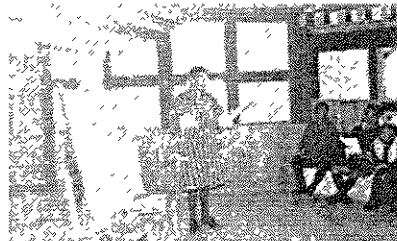


Village Meeting

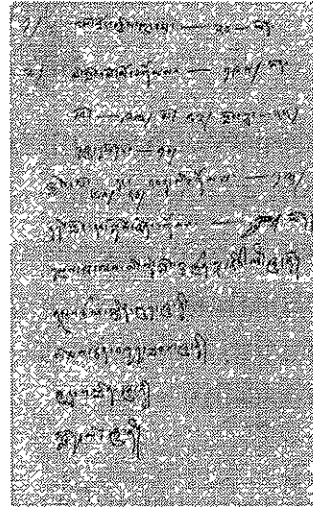
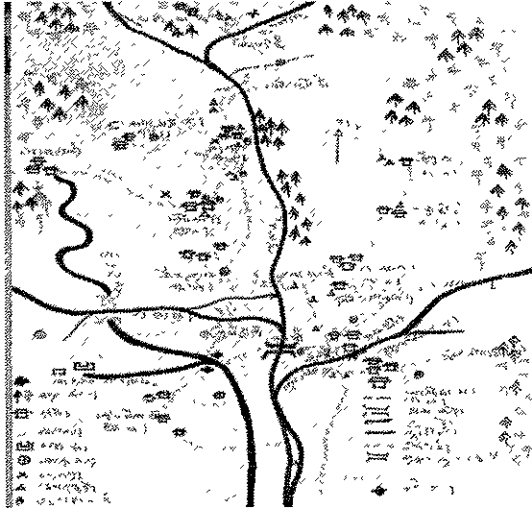
- Men/Women ration 1: 3
- No set guideline
- No written agenda
- About 60% of Tshogpas record minutes of meeting



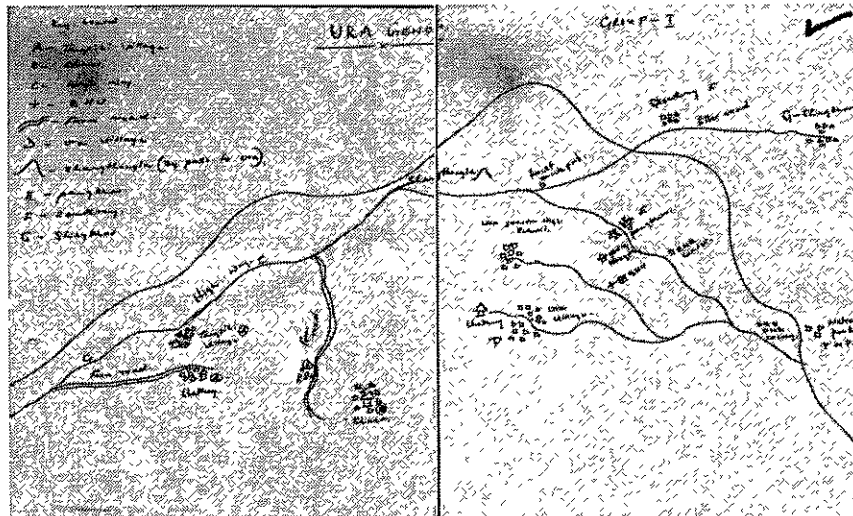
Tshogpas presenting their Chiog map, information and problems in GYT-II training



Village Mapping: Importance of information before planning



Geog Mapping: Importance of information before planning



Presentation by Chumme Tshogpas

No	Chiog/Tshogpa	Chiog Proposal	Remark
1	Getsa Tshogpa	Farm Road/ drinking water/ bridge	
2	Domkhar Tshogpa	Farm Road/drink water	
3	Buli Tshogpa	Improvement of road	
4	Zhicha Tshogpa	Construction of Bridge	
5	Phunjong Tshogpa	Improvement of road	
6	Aungsang Tshogpa	Construction of bridge	
7	Nang Nge Tshogpa	Improvement of road	
8	Zungney Tshogpa	Meeting hall & Kitchen	X
9	Nanggar Tshogpa	Farm road	
10	Chungphel Tshogpa	Road/ Farm road	
11	Aurug Tshogpa	Improvement of road	
12	Thromay Tshogpa	Maintenance of School	
13	Trakhar Tshogpa	Community School	

GYT Prioritized : Improvement of farm road from Getsa to Urug



Presentation by Chhokor Tshogpas

No	Chiog/Tshogpa	Chiog Proposal	Remark
1	Nasephel Tshogpa	Farm Road/Bridge	
2	Ngalakhang Tshogpa	Farm Road	
3	Thangbi Tshogpa	Bridge	
4	Dhur Tshogpa	Bridge	
5	Dawathang Tshogpa	Farm Road	
6	Tamshing Tshogpa	Farm Road	
7	Wangling Tshogpa	River Bank protection	?
8	Jakar Tshogpa	-do-	
9	Chamkhar Tshogpa	-do-/Farm Road	
10	Gekhar Tshogpa	-do-	
11	Norbugang Tshogpa	Farm Road	

GYT prioritized : (1) Construction of Toktophel bridge and (2) Construction of Dhur bridge



Presentation by Tang Tshogpas

No	Chiog/Tshogpa	Chiog Proposal	Remark
1	Phomdrong Tshogpa	Improvement of Road/ Community Forest	
2	Bepzur Tshogpa	-do-/Farm Road/Bridge	
3	Gezhong Tshogpa	-do-/ Electricity/Telephone	
4	Dazur Tshogpa	Telephone/Electricity	
5	Gangjug Tshogpa	Improve of Road/ Home pipe	
6	Nabnang Tshogpa	Improve. of Road/Farm Road	
7	Ugyenling Tshopa	Improvement of Road	
8	Gamling Tshogpa	-do-/Bridge/Electricity	
9	Tandingang Tshogpa	-do-/School/Electricity	

GYT Prioritized : Expansion and improvement of road from Mebartsho to Wapthang farm



Presentation by Ura Tshogpas

No	Chiog/Tshogpa	Chiog Proposal	Remark
1	Toepa Tshogpa	Construction of foot path	
2	Charey Tshogpa	-do-	
3	Tarzhong Tshogpa	-do-	
4	Drabe Tshogpa	-do-	
5	Shingneer Tshogpa	-do-	
6	Tangsibi Tshogpa	-do-/Const of meeting hall	X
7	Phangkhar Tshogpa	Const of Community School	
8	Sumbrang Tshogpa	-do-	
9	Shingkhar Tshogpa	Foot path/Farm Road	

GYT Prioritized : (i) Construction of foot path in 10 Village and (2) Construction of Farm Road above Ura Village



Summary of the Four Geogs Prioritized Activities

No	Geog	Activity prioritized	Place/Location
1	Chumme	Improvement of Road	From Getsa to Urug
2	Chhoekhor	Construction of bridge	Toktophel bridge
		Construction of bridge	Dhur bridge
3	Tang	Expansion & Improvement of road	From Mebartsho to Wagthang farm
4	Ura	Construction of foot path	In 10 Villages
		Construction of farm road	Above Ura Village



Proposal written by the Tshogpa

མངའ་སྡེ་གི་འགྲིམ་ཁྲིམ་ལུགས་ལཱ་(ཕྱི་ཕྱོད་ལཱ་)

༡) ཕྱི་ཕྱོད་ལཱ་ - རང་ལོ་ཕྱི་ཕྱོད་ལཱ་

༢) ཕྱི་ཕྱོད་ལཱ་ - རང་ལོ་ཕྱི་ཕྱོད་ལཱ་ ལྷན་དུ་
མི་ཚོས་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་
ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་
ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་
ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་

༣) ཕྱི་ཕྱོད་ལཱ་ - ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་
ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་

༤) ཕྱི་ཕྱོད་ལཱ་ - ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་
ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་
ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་

ཕྱི་ཕྱོད་ལཱ་ གི་ ཕྱི་ཕྱོད་ལཱ་ ལྷན་དུ་
ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་

༡) ཕྱི་ཕྱོད་ལཱ་ - ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་
ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་
ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་
ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་
ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་ ལྷན་དུ་



Result of the Assessment for Chumme Geogs

No	Questions	Group 1	Group 2	Group 3
	Marks obtained out off 40 Marks	26	37	39
1	Arrange in order for fund flow down			
2	Arrange in order for proposal from GYT to government			
3	Decentralization of powers means			
a	Every Bhutanese has some say in the decision making process			
b	that power stops at Gup's level			
c	power moving away from the center to every individuals			
4	How is power developed in the community	x		
5	List 6 planning steps			
6	When should you use the priority box			
a	For one project			
b	For many projects			
c	To check each plans against current and future needs			
d	When you have no project			
7	When you should use pair wise matrix			
a	When you have only one project			
b	When you have many projects			
c	For prioritizing sequencing the project			
d	After prioritizing the projects			
8	Arrange the 7 stages of problem solving	x	x	
9	Arrange the 6 levels of problems			

Result of the Assessment for Chhoekor Geog

No.	Questions	Group 1	Group 2	Group 3
	Marks obtained out off 40 Marks	38	30	37
1	Arrange in order for fund flow down			
2	Arrange in order for proposal from GYT to government		x	
3	Decentralization of powers means			
a	Every Bhutanese has some say in the decision making process			
b	that power stops at Gup's level	x		
c	power moving away from the center to every individuals	x		
4	How is power developed in the community			
5	List 6 planning steps		x	x
6	When should you use the priority box			
a	For one project			
b	For many projects			
c	To check each plans against current and future needs			
d	When you have no project			
7	When you should use pair wise matrix			
a	When you have only one project			
b	When you have many projects			
c	For prioritizing sequencing the project			
d	After prioritizing the projects			
8	Arrange the 7 stages of problem solving		x	
9	Arrange the 6 levels of problems		x	

Result of the Assessment for Tang Geog

No	Questions	Group 1	Group 2
	Marks obtained out off 40 Marks	37	39
1	Arrange in order for fund flow down		
2	Arrange in order for proposal from GYT to government		
3	Decentralization of powers means		
a	Every Bhutanese has some say in the decision making process		
b	that power stops at Gup's level		
c	power moving away from the center to every individuals		
4	How is power developed in the community		
5	List 6 planning steps		
6	When should you use the priority box		
a	For one project		
b	For many projects		
c	To check each plans against current and future needs		
d	When you have no project		
7	When you should use pair wise matrix		
a	When you have only one project		
b	When you have many projects		
c	For prioritizing sequencing the project		
d	After prioritizing the projects		
8	Arrange the 7 stages of problem solving		
9	Arrange the 6 levels of problems		

Result of the Assessment for Ura Geog

No	Questions	Group 1	Group 2	Group 3
	Marks obtained out off 40 Marks	18	39	37
1	Arrange in order for fund flow down			
2	Arrange in order for proposal from GYT to government	x		
3	Decentralization of powers means			
a	Every Bhutanese has some say in the decision making process	x		
b	that power stops at Gup's level			x
c	power moving away from the center to every individuals	x		
4	How is power developed in the community	x		
5	List 6 planning steps	x		
6	When should you use the priority box			
a	For one project			
b	For many projects			
c	To check each plans against current and future needs			
d	When you have no project			
7	When you should use pair wise matrix			
a	When you have only one project			
b	When you have many projects			
c	For prioritizing sequencing the project			
d	After prioritizing the projects			
8	Arrange the 7 stages of problem solving	x		
9	Arrange the 6 levels of problems	x		

Issues

1. **No proper election procedure for Tshogpa's**
 - Tshogpa's faces difficulty in conducting meeting owing to inadequate authority/guidelines
 - Tshogpa's one year tenure too short
 - In many Chiogs Tshogpas appointed on rotation basis
2. **Sector Heads and Extension Staff performance feedback should be taken from the GYT/DYT Chairperson in order to improve the services in the Chiog and Geog.**
3. **GYT and Chiog meeting to be conducted as per Chathrim**
4. **DYT/GYT Chathrims and Manual should be issued to all Tshogpas**



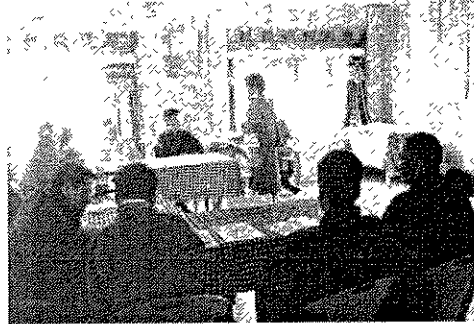
Recommendations

1. MoHCA to frame proper election procedures for Tshogpas
 - Election of capable Tshogpa by motivation/emphasis the importance/wages
 - Tshogpas tenure to be increased to three years
 - Election of capable Tshogpa by motivation/emphasis the importance/wages
2. Sector Head and Extension staff performance feedback should be taken from the GYT and DYT Chairperson who has acquired the services
3. Tshogpas should be trained in how to conduct meeting
4. DYT/GYT Chathrims and Manuals should be distributed to all Tshogpas



Debriefing to Dzongkhag

Presentation of
four geogs prioritise
planned activities



Dzongkhag's concern

- Can JICA fund be used with other fund to complete a activity (Chumme & Chhoekor plan)
- As per MoA's policy, farm roads are supposed to be given to PWD
- Community participation not be possible for the construction of bridge.



